

# すずむし

第113号

1976年12月

倉敷昆虫同好会

## 第113号 目 次

近藤光宏・三宅宗夫：岡山県の広腰亜目（膜翅目）その2	1
尾 塔 順 三：久米町のヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ等の分布について	14
宇野弘之・槇本精二：話題の蛾の岡山県内記録について	15
那須 敏・山地 治：高鉢山（鳥取県）のカミキリムシ	18
渡 辺 穀：今年（1976年）の蝶採集短報	30
岸 清巳・水島靖夫・岸洋司：久米郡久米南町の蝶類22種について	33
水 野 弘 造：外国の蝶の話（Ⅲ）*	35

### おとしぶみ（短報）

岸 清巳：柵原町の蝶2種	13
水島靖夫：モンクロベニカミキリの記録	17
那須 敏：イシガケチョウの1記録例	31
吉田嘉男：イシガケチョウを金甲山で採集	31
山地 治：臥牛山のチャボヒゲナガカミキリ	32
山地 治：ツメアカナガヒラタタマムシを総社市で採集	32
那須 敏：アオバセセリを前島で目撃	32
岸 清巳：伯耆大山でサツマシジミを採集	32
岸 清巳・水島靖夫・岸 洋司：御津郡建部町入野の蝶8種	39
岸 清巳：ヒロオビミドリシジミの産卵について	39
山地 治：福本のウスバシロチョウについて	40

# す す む し

No. 113

Dec., 1976

## 岡山県の広腰亜目（膜翅目）

### そ の 2

キバチ科・クビナガキバチ科・ヤドリキバチ科・ナギナタハバチ科  
（ヒラタハバチ科・クキバチ科・ミフシハバチ科・ヨフシハバチ科）  
コンボウハバチ科・マツハバチ科

近 藤 光 宏 <sup>(1)</sup> · 三 宅 宗 夫 <sup>(2)</sup>

岡山県の広腰亜目のうちハバチ科については、本誌 ('75) に筆者<sup>20)</sup>らがすでに報告している。

そこで、本報文では広腰亜目中残りの10科について、分布・生態を中心にまとめることにした。

しかし、本報文も前回報告したハバチ科同様県内では全く未知な分野であり、また同好者も限られていることなどから完全なものではない。したがって、会員諸氏とともに追加・修正等今後の調査に期待するところが大きい。

記述方法としては、できるだけわかりやすいものにするために、本誌108号 ('72) “岡山県の蝶”を参考にした。

本稿を草するに当たり、奥谷禎一博士には平素から同定その他格別のご指導とご援助をいただきおり感謝にたえない。

一方、安江安宣博士からは、文献の収集について便宜を賜わり、いつも暖かい指導をいただいた。また、重井博博士には、調査を進めていくうえで物心両面にわたって数々のご援助をいただき、たいへん勇気づけられた。また、古屋野寛氏には、幼虫と食草との関係を明らかにするために必要な食草の同定をお願いした。ここに記して厚くお礼を申し上げる。なお、標本提供者は、筆者らの外に、次の九氏のものが含まれていることを記しておくにかえたい。

青野孝昭、赤枝一弘、浅野憲一、宇野弘之、重井博、田辺裕子、那須敏、山下俊和、渡辺昭彦

(1) 〒710 倉敷市中央2丁目16-14 教員

(2) 〒712 倉敷市連島町西之浦5820 会社員

## 凡　　例

1. この報文には、岡山県下で記録された広腰亜目10科46種（キバチ科5種、クビナガキバチ科2種、ヤドリキバチ科1種、ナギナタハバチ科1種、ヒラタハバチ科6種、クキバチ科7種、ミフシハバチ科10種、ヨフシハバチ科1種、コンボウハバチ科9種、マツハバチ科4種）いずれも種名の判っているものについて、次のような内容が記述してある。

A：分布記録，B：分布の概説と発生経過，C：食草（食樹），D：生態その他

2. 分布記録について、県下ではじめて記録されたものについては、必ずとり上げ、最初にかかげるようにした。都市で記録されたものについても1例はかかげるようにし、その場合も、はじめての記録を優先した。♀♂については、1例でも採集されていればとり上げている。採集者名は、資料提供者については氏名を明記し、筆者らについては記号であらわすこととした。

K（近藤光宏） M（三宅宗夫）

3. 食草については、今後の調査のめやすにするため、奥谷<sup>2), 3)</sup> ('67), ('70) を引用し、「」をつけた。県下で確認（幼虫、その食草で飼育でき、成虫になったもの）された食草については、右肩に\*印を、また、その種にとって新発見の食草については右肩に\*\*印をつけて区別した。

4. 生態その他については、主として幼虫を採集し、飼育羽化させたものについて、そのDataを記入した。

### *Family SIRICIDAE キバチ科*

#### *Subfamily SIRICINAE キバチ亜科*

##### 1. *Urocerus japonicus* (SMITH, 1874) ニホンキバチ

A：英田郡一後山 (July 29, '62, 重井博) 1♀；倉敷市一？ (Aug. 1, '62, 山下俊和)  
1♀；川上郡一七地 (Sep. 11, '66, K) 1♂；高梁市一臥牛山 (Aug. 25, '71, K)  
1♀2♂♂；(Sep. 3, '71, M) 4♂♂, (Sep. 4, '71, K) 5♂♂, (Sep. 12, '71,  
K) 4♂♂

B：'71高梁市臥牛山において、台風のために倒れたモミの倒木付近で多数の♂を  
採集した。以外では点々としか記録されていない。

C：アカマツ\* 「カラマツ、ヒノキ、モミも記録があるが確実でない。」

##### 2. *Sirex nitobei* MATSUMURA, 1912 ニトベキバチ

A：倉敷市一連島山 (Sep. 25, '70, M) 1♀

B：アカマツが枯れた年の秋産卵、1年後の8月下旬から9月中旬をピークに9月  
一杯成虫発生はみられる。

C：アカマツ\* 「マツ類（クロマツ）、カラマツ」

D：浅口郡一柳井原 (Nov. 29, '71, M) 1♀アカマツより羽化；高梁市一臥牛山 (Sep. 5~24, '72, M) 12♀♀15♂♂アカマツより羽化。成虫が脱出して来るのは、枯れた次の年である。8月下旬、野外においてアカマツの幹部に脱出孔がみえはじめたら、その付近を切り取って保管しておくと成虫が得られる。

なお、'71高梁市一臥牛山で採取したモミ枯木から、体の色、産卵管などが、本種とコルリキバチの中間型 4♀♀2♂♂羽化。同定（奥谷）の結果、中間種もしくは、新種と思われるが、さらに検討を必要とすることがわかったので付記しておく。

### 3. *Xeris spectrum* (LINNÉ, 1758) オナガキバチ

A：高梁市一臥牛山 (Apr. 5, '71, 那須敏) 1♀, (May 31, '71, 那須敏) 3♀♀, (May ?, '71, 渡辺昭彦) 1♀, (June 6, '76, 渡辺昭彦) 1♀；岡山市一吉備津 (May 9, '76, M) 6♂♂

B：'71 高梁市臥牛山のモミ倒木で、早いものは4月上旬から、おそいものは9月上旬まで発生を確認した。

C：モミ\* 「トウヒ類（アカエゾマツ、エゾマツ）、ヒノキ」

D：高梁市一臥牛山 (Aug. 23, ~ Sep. 4, '71, K) 2♀♀23♂♂, (Apr. 4~May 27, '72, K) 2♀♀4♂♂ それぞれモミより羽化。本種発見のきっかけは、当時カミキリムシを収集していた渡辺昭彦氏の標本の中に1♀含まれていたことによる。そのデーターをたよりにモミ倒木を探してたもの。なおDで述べたように、倒木の一部をビニール袋に保管していたところ、翌春再び相当数の羽化がみられた。

### Subfamily TREMECINAE ヒラアシキバチ亜科

#### 4. *Tremex apicalis* MATSUMURA, 1912 クロヒラアシキバチ

A：真庭郡一新庄村 (July 25, '76, M) 1♀, (Aug. 2, '76, M) 1♂

C：「カエデ類（イタヤカエデ、イロハカエデ）、ソメイヨシノ、シラカシ」

D：真庭郡一新庄村 (Aug. 1, '76, M) に採取した枯木から (Sep. 19, '76, K) 1♂ 羽化したが枯木については未同定。

#### 5. *T. longicollis* KONOW, 1896 ヒラアシキバチ

A：倉敷市一鶴形山 (July 30, '61, 山下俊和) 1♀, (Oct. 8~19, '61, K<sup>9)</sup>) 10♀♀, 川入 (Sep. 22~Oct. 28, '74, K) 17♀♀

B：7月下旬から10月下旬のはんいで成虫発生がみられた。

C：エノキ\*

D：真庭郡一新庄村 (Aug. 1, '76, M) で採取していた枯木から (Aug. 10, '76, M) 1♀羽化。枯木の植物は未同定。筆者らはすでに昆虫と自然<sup>19)</sup> ('74) に本種の生態観察をとりまとめて報告した。それによると、「①脱出孔のあるエノキを探すことによってあるていど意図的に本種を採集することができる。②コルリキバチ属のものと同じように枯木でなく、弱った木に産卵し育つ。③観察もしく

は、採集できた本種は、いずれも♀で♂はみあたらなかった。④同じエノキの生木部と枯木部との境付近で、発生は数年にわたって続いている。」などである。

キバチ科では、苦田郡一森林公園 (Aug. 8, '76, 宇野弘之) において、未同定種 1 ♂が記録されている。

ヒゲジロキバチは、県内未記録種であるが、近県からは記録されているので今後期待される種である。

### *Family XIPHYDRIIDAE クビナガキバチ科*

1. *Xiphydria palaeanarctica* SEMENOV, 1921 ヒゲジロクビナガキバチ

A : 高梁市一臥牛山 (May 14, '73, 渡辺昭彦) 1 ♀

C : 「ハンノキ, カエデ類 (イロハカエデ, イタヤカエデ), トチノキ, オニグルミ」

2. *X. camelus* LINNAEUS, 1758 クビナガキバチ

A : 苦田郡一加茂町 (July 10, '66, K) 3 ♀♀ 1 ♂

C : 加茂町倉見の貯木場で採集した。

### *Family ORYSSIDAE ヤドリキバチ科*

1. *Stiricorsia tosensis* TOZAWA, 1934 トサヤドリキバチ

A : 高梁市一臥牛山 (Sep. 3, '71, M) 2 ♀♀ 1 ♂, (Sep. 4, '71, K) 1 ♀, (Sep. 8, '71, M) 1 ♀, (June 28, '73, 渡辺昭彦) 1 ♀; 倉敷市一川入 (Sep. 21, '75, K) 2 exs., 目撃: 苦田郡一倉見 (Aug. 15, '76, M) 1 ♀ 3 ♀♂

D : 高梁市臥牛山のものは、タラヨウの立ち枯れで得られた。一方、倉敷市川入のものは、エノキのヒラアシキバチ脱出孔付近で確認した。

### *Family XYELIDAE ナギナタハバチ科*

1. *Xyela julii* (BRÉBISSON, 1818) マダラナギナタハバチ

A : 倉敷市一連島町 (Apr. 14, '64, M) 1 ♀ 2 ♀♂, 北畠 (Apr. 8, '68, K) 1 ♀, 連島町 (Apr. 19, '70, M) 2 ♀♀ 8 ♀♂

B : 自然状態での成虫の発生は、4月上旬にはじまり、中旬をピークに下旬にいたる。

C : アカマツ\*\*

D : 倉敷市一連島町 (May 上旬, '75, K) のアカマツの雄花から幼虫約100exs. → (Mar. 28~Apr. 8, '74, K) 19 ♀♀ 10 ♀♂ 羽化。筆者らは ('74) 遺伝<sup>18), 26)</sup> に、アカマツの雄花から、本種幼虫をはじめて発見したこと、および生態面でも、成熟幼虫は、落下して地上に達すること、さらに地中の蛹は羽化が近づくと地上にはい出して羽化することなどを報告した。

### Family PAMPHILIDAE ヒラタハバチ科

#### Subfamily CEPHALCHINAE マツヒラタハバチ亜科

1. *Acantholyda posticalis* (MATSUMURA, 1912) アトグロヒラタハバチ

A : 倉敷市一連島町 (May 2, '64, M) 1♀, 由加山 (May 19, '74, 宇野弘之) 1♀

B : 5月にわずか2例採集しているにすぎない。

C : 「採集記録よりみてアカマツと思われる。」

D : 由加山<sup>1)</sup>の1♀は、マツクイムシ防除のためのヘリ空散で落下したもの。

#### Subfamily PAMPHILINAE ヒラタハバチ亜科

2. *Neurotoma iridescent* (ANDRÉ, 1882) サクラヒラタハバチ

B : 県南部で幼虫はかなり発生している。

C : ソメイヨシノ\*「サクラ類 (ヤマザクラ, セイヨウミザクラ), ナナカマド」

D : 倉敷市一鶴形 (May 25, '72, K) ソメイヨシノで幼虫約150exs. 採集 → 天敵1ex. の他羽化失敗, (May 27, '73, K) ソメイヨシノで幼虫約60exs. 採集 → 羽化失敗; 総社市一三須 (May 31, '73, K) ソメイヨシノの幼虫約60exs. → (Apr. 11~24, '74) 天敵のみ9exs. 羽化。

3. *Pamphilus lucidus* ROHWER, 1910 ツヤヒラタハバチ

A : 阿哲郡一大佐町 (May 1, '66, K) 1♀; 真庭郡一新庄村 (May 30~31, '70, K) 2♀♀

C : 「キイチゴ類 (クマイチゴ, クサイチゴ, ニガイチゴ, カジイチゴ)」

4. *P. viriditibialis* TAKEUCHI, 1930 アオスネヒラタハバチ

A : 苫田郡一泉山 (July 22, '62, K) 1♀; 新見市一草間 (Aug. 27, '67, K) 1♀; 高梁市一臥牛山 (May 14, '73, 渡辺昭彦) 1♀

C : 「クマイチゴ」

5. *P. jucundus* TAKEUCHI, 1930 ウスモンヒラタハバチ

A : 真庭郡一明連渓谷<sup>14)</sup> (May 24, '64, 重井博) 1♀, 新庄村 (June 7, '70, M) 1♀ 2♂♂, (May 30, '70, K) 2♂♂, (May 29, '71, M) 2♂♂

D : 本種成虫は、県北のサクラの花で得られる。

6. *Onycholyda minomalis* (TAKEUCHI, 1930) コモンヒラタハバチ

A : 阿哲郡一大佐町 (May 1, '66, K) 1♀

### Family CEPHIDAE クキバチ科

#### Subfamily CEPHINAE クキバチ亜科

1. *Clameuta nigripennis* (TAKEUCHI, 1927) クロバクキバチ

A : 倉敷市一老松町 (June 1, '52, K) 1♀, 連島町 (May 22, '61, K) 2♂♂, (June 1, '62, K) 1♀

C : 「カモジグサ, 恐らくアオカモジグサにも穿孔すると思われるが不明である。」

D : カモジグサのはえている付近を飛んでいるところを探集した.

2. *Syrista similis* (MACSARY, 1904) バラクキバチ

A : 倉敷市一連島町 (Apr. 24, '60, K) 1 ♀; 総社市一美袋 (Apr. 29, '62, K) 1 ♀

B : 次種オオバラクキバチより少ない.

C : 「バラ類 (セイヨウバラ, ノイバラ, ヤブイバラ)」

3. *Hartigia agilis* (SMITH, 1874) オオバラクキバチ

A : 新見市一井倉 (May 3, '60, K) 1 ♀; 高梁市一玉川 (May 2, '65, 田辺裕子)

1 ♀

C : ノイバラ\*

D : 高梁市一玉川 (Apr. 13, '72, K) 1 ♀羽化; 川面 (Apr. 15, '72, K) 2 ♀羽化;  
倉敷市一西阿知 (Apr. 7, '68, K) 1 ♀羽化; 向山 (Apr. 5, '71, K) 1 ♀羽化;  
総社市一川原 (Apr. 5~May 10, '71, K) 1 ♀ 4 ♀羽化. 奥谷<sup>4)</sup> ('74) は、「食  
草はバラ類で、中川 (1902) 以来確認されたことがなかったが、猪股氏により  
産卵が観察され、近藤氏は前述の方法で、バラの枝稍より羽化させ、中川の記  
載の正しいことを証した.」と述べている. すなわち筆者の一人近藤は、3月上  
旬頃被害枝を切断して、ビニール袋に入れておいて、相当数羽化させることができた.

なお、バラクキバチとちがって産卵を受けた被害枝は、枯れないことを観察  
している.

4. *Sinicephus giganteus* (ENDERLEIN, 1913) チシャノキクキバチ

A : 倉敷市一北畠 (Apr. 5~May 12, '68, K) 幼虫確認; 新見市一柏 (July 14, '68,  
K) 自生のチシャノキで幼虫確認; 津山市一鶴山公園 (Mar. 28, '69, K) 幼虫  
確認

B : 本邦 2 度目の記録, すなわち九州につぎ, 本州では初記録

C : チシャノキ\*

D : 倉敷市一北畠 (Apr. 5~May 12, '68, K) 22 ♀♀ 18 ♀羽化; 玉島 (Apr. 4~17,  
'74, K) 1 ♀ 3 ♀羽化; 総社市一美袋 (Apr. 30, '69, K) 自生のチシャノキより  
1 ♀羽化; 高梁市一川面 (Apr. 23, '71, K) 2 ♀ 1 ♀羽化. 筆者の一人近藤は,  
その後も分布調査を続けた結果、チシャノキの分布とほぼ一致することがわかつた.  
すなわち、チシャノキは、社寺・校庭・民家の庭・公園に多く、わずか  
ではあるが自然状態のものも確認することができ、いずれも幼虫がみられた.  
屋外で、本種の飛翔もしくは、産卵を目撃したのは、倉敷市一北畠 (May 6,  
'68, K) である. なお、このチシャノキは勤務地にあり、毎日観察することができたが、この日以前には成虫の出現はみられなかった. チシャノキは、芽を  
ふいてまもないところであった.

5. *Janus japonicus* SATO, 1926 モンクキバチ

A : 苫田郡一倉見 (June 1, '72, M) 1 ♀; 倉敷市一中央 (Apr. 9, '73, K) 幼虫確認

C : サンゴジュ「ガマズミ類 (ガマズミ)」

D : 倉敷市一中央 (Apr. 9~20, '73, K) 3♀♀7♂♂羽化, 南町 (Apr. 16~17, '73, K) 1♀1♂羽化, 鶴形山 (Apr. 11, '73, K) 1♀羽化, 玉島 (Apr. 17, '73, K) 1♀羽化. 春本種の産卵を受けたサンゴジエの新稍は次第にしおれ (倉敷市田之上で May 23, '73, K 観察), やがて茶色になりすっかり枯れてしまう. したがって, 6月上旬ごろ, 茶色変した新稍を目じるしに探すことにより, 幼虫は容易に得られる.

6. *J. micromaculatus* SATO, 1926 ヒメモンクキバチ

A : 真庭郡一新庄村 (June 26, '76, K) 1♀

7. *J. kashivorus* YANO et SATO, 1928 アカガシクキバチ

A : 倉敷市一連島山 (May 1, 1964 M) 1♀

B : 県下初記録で本邦産の西限と思われる.

C : 「アカガシ」

*Family ARGIDAE* ミフシハバチ科

*Subfamily ARGINAE* チュウレンジ亜科

1. *Arge captiva* (SMITH, 1874) ニレチュウレンジ

A : 新見市一井倉 (May 7, '61, K) 11♀♀, 4♂♂; 倉敷市一連島町 (May 17, '62, K) 3♀♀, (July 19, '62, K) 1♀

B : 年2回以上の発生がみられた.

C : アキニレ\* 「ニレ類 (ハルニレ)」

D : 玉野市一田井 (Nov. 11, '70, K) アキニレの幼虫多数採集→ (May 2~5, '71) 13♀♀1♂羽化; 倉敷市一玉島 (June 26, '72, K), 連島でも幼虫の多発場面を目撃している.

2. *A. jonasi* (KIRBY, 1882) ウンモンチュウレンジ

A : 高梁市一玉川 (May 22, '60, K) 1♀; 総社市一日羽 (May 13, '62, K) 1♀; 倉敷市一福井 (May 10, '65, K) 1♀; 真庭郡一新庄村 (July 24, '66, K) 1♀; 苫田郡一奥津町 (May 15, '66, K) 3♀♀

B : 県下に広く分布しているが, 一度に沢山採集できない.

C : 「カマツカ, カマツカ属の他種も食うと思われるが未確認である.」

D : 本種♀はウシコロシの葉上に静止していることが多い.

3. *A. nigrinodosa* (MOTSCHULSKY, 1859) アカスジチュウレンジ

A : 都窪郡一黒田 (May 5, '52, K) 1♀, (July 2, '61, K) 3♀♀; 新見市一井倉 (May 3, '59, K) 1♂; 倉敷市一連島町 (May 11, '61, K) 1♀; 総社市一日羽 (May 6, '62, K) 1♀; 川上郡一七地 (Sep. 17, '67, K) 3♀♀

B : 年2回以上発生している.

C : ノイバラ\* 「バラ類 (セイヨウバラ, ニオイバラ, テリハノイバラ)」

D : 総社市一美袋 (May 11, '69, K) PM. 4:30ノイバラの新稍に産卵中を目撃した. 倉敷市一種松山 (Oct. 12, '69, K) ノイバラの幼虫 1ex. → (Apr. 26, '70) 1♀羽

化、由加山 (Oct. 20, '74, K) ノイバラ? の幼虫 2 exs. → (May 1~Apr. 30, '75) 2 ♀♀羽化、六口島 (Nov. 24, '75, K) 園芸用のバラの幼虫 5 exs. → (May 9, '76) 1 ♀羽化; 都窪郡一黒田 (Aug. 27, '74, K) ノイバラ? の幼虫 7 exs. → (Sep. 10~12, '74) 4 ♀♀3 ♂♂羽化

#### 4. *A. nippensis* ROHWER, 1910 ニホンチュウレンジ

A : 児島郡一彦崎 (June 15, '52, K) 1 ♀; 倉敷市一連島町 (Sep. 10, '60, K) 1 ♀, (Apr. 22, '61, K) 1 ♂; 新見市一井倉 (May 3, '62, K) 1 ♂; 高梁市一玉川 (May 20, '62, K) 2 ♂♂; 浅口郡一船穂町 (Apr. 25, '65, K) 1 ♀; 阿哲郡一大佐町 (May 30, '65, K) 1 ♀; 英田郡一若杉峰 (Aug. 22, '65, K) 1 ♀; 総社市一楓 (July 7, '68, K) 1 ♀; 川上郡一七地 (Sep. 17, '67, K) 1 ♀; 真庭郡一新庄村 (May 30, '71, K) 1 ♂

B : 県下に広く分布し、発生個体数も多い。

C : ノイバラ\* 「バラ類 (セイヨウバラ, ニオイバラ)」

D : 倉敷市一向山 (Nov. 9, '69, K) ノイバラで幼虫 9 exs. → (Apr. 15~20, '70) 8 ♀♀1 ♂羽化、中央 (July 21, '72, K) 交尾中を目撃

#### 5. *A. pagana* (PANZER, 1798) チュウレンジハバチ

A : 児島郡一彦崎 (June 15, '52, K) 1 ex.; 新見市一井倉 (Apr. 29, '61, K) 1 ♂; 真庭郡一新庄村 (May 26, '63, K) 1 ♀ 1 ♂; 川上郡一七地 (May 3, '69, K) 1 ♀; 総社市一美袋 (May 17, '69, K) 1 ♂; 英田郡一後山 (May 14, '76, 青野孝昭) 1 ♂

B : ニホンチュウレンジよりずっと少ない。

C : ノイバラ\* 「バラ類 (セイヨウバラ, ニオイバラ)」

#### 6. *A. rejecta* (KIRBY, 1882) カタアカチュウレンジ

A : 児島郡一彦崎 (May 3, '52, K) 1 ♀; 高梁市一玉川 (May 22, '60, K) 1 ♂, 臥牛山 (Apr. 4, '71, K) 3 ♀♀; 倉敷市一連島町 (Sep. 12, '60, K) 1 ♀, (May 13, '61, K) 2 ♀♀; 総社市一草田 (June 15, '75, K) 1 ♀

C : 「キイチゴ類 (ナワシロイチゴ, ニガイチゴ, クマイチゴ)」

#### 7. *A. fulvicornis* MOCSARY, 1909 ツノキウンモンハバチ

A : 英田郡一若杉峰 (Aug. 22, '65, K) 1 ♀; 川上郡一七地 (May 18, '70, K) 3 ♀♀ 1 ♂, (May 29, '69, K) 2 ♂♂; 阿哲郡一無明谷 (May 25, '75, K) 1 ♀

#### 8. *A. similis* (VOLLENHOVEN, 1860) ルリチュウレンジ

A : 倉敷市一中央 (July 25, '51, K) 1 ♀, (May 3, '52, K) 1 ♂; 新見市一井倉 (May 3, '59, K) 1 ♂; 浅口郡一遙照山 (Apr. 23, '61, K) 5 ♂♂; 高梁市一玉川 (May 14, '61, K) 3 ♀♀; 都窪郡一黒田 (July 2, '61, K) 1 ♀; 川上郡一天神 (Aug. 13, '61, K) 1 ♂; 総社市一日羽 (May 6, '62, K) 1 ♂; 真庭郡一新庄村 (May 31, '70, K) 1 ♂; 和気郡一八塔寺 (May 18, '75, 青野孝昭) 1 ♀ 5 ♂♂; 苫田郡一倉見 (Aug. 14, '74, M) 1 ♂

B : 県下各地にもっとも普通に分布している。年2回以上発生している。

C : キリシマ\*, サツキ\* 「ツツジ類（ヤマツツジ、ミツバツツジ、リュウキュウツツジ、ヨドガツツジ、オオヤマツツジ、レンゲツツジ、モチツツジ）」コバノミツバツツジ\*, オオムラサキ\*

D : 倉敷市一中央 (June 15, '74, K) キリシマの幼虫 → (July 7, '74) 1♂羽化。由加山 (Oct. 20, '74, K) オオムラサキの幼虫 → (May 1~13, '75) 4♀♀3♂♂羽化

#### 9. *A. suspicax* KONOW, 1908

A : 阿哲郡一荒戸山 (Aug. 13, '61, K) 1♀

#### Subfamily STERICTIPHORINAE クワガタハバチ亜科

#### 10. *Sterictiphora nipponica* TAKEUCHI, 1939 クワガタハバチ

A : 英田郡一若杉峰 (May 22, '71, M) 1♂

#### Family BLASTICOTOMIDAE ヨフシハバチ科

#### 1. *Runaria reducta* MALAISE ? 1931

A : 苫田郡一上斎原 (June 8, '75, K) 2♀♀; 和気郡一熊山 (Aug. 1, '76, K) ベニシダの幼虫確認; 都窪郡一黒田 (Aug. 1, '76, K) ベニシダの幼虫確認。熊山・黒田ともに本科の特徴であるアワをふいてその中に幼虫がみられた。

#### Family CIMBICIDAE コンボウハバチ科

#### Subfamily CIMBICINAE アシブトハバチ亜科

#### 1. *Leptocimbex yorofui* MARLATT, 1898 ヨウロウヒラクチハバチ

A : 苫田郡一加茂町 (June 8, '64, K) 1♀; 真庭郡一新庄村 (June 16, '69, M) 1♂;  
苫田郡一上斎原 (June 8, '75, K) 1♀

B : 県最北部のごく限られた地域でしかみられない。

C : 「カエデ類らしいと竹内 (1949) は推定しているが確かでない。」

D : 溪谷地帯の同じカエデ付近で毎年1・2個体採集できる。

#### 2. *Paleocimbex carinulta* (KONOW, 1897) ナシアシブトハバチ

A : 岡山市一竜ノ口 (Apr. 4, '58, 赤枝一弘) 1♀

C : 「ナシ, ポケ類 (ポケ, クサボケ), ザイフリボク」

D : 赤枝氏は、丘の頂上付近をぶんぶん飛んでいたところをネットした。

#### 3. *Agenocimbex jucunda* (MOCSARY, 1896) ホシアシブトハバチ

A : 総社市一草田 (May 6, '62, K) 1♀; 高梁市一玉川 (Apr. 19, '64, M) 1♀; 川上郡一穴門山 (May 11, '75, K) 1♀

C : エノキ\*, 「エノキ類 (エノキ, エゾエノキ)」

D : 高梁市一大久保 (May 18, '75, K) エノキの幼虫 2 exs. → (Apr. 17, '76) 1♀羽化

### Subfamily ABIINAE コンボウハバチ亜科

4. *Orientabia japonica* (CAMERON, 1886) ルリコンボウハバチ
- A : 苫田郡一阿波村 (June 7, '64, 重井博) 1♀; 真庭郡一新庄村 (June 7, '70, M)  
1♀; 阿哲郡一実谷 (July 11, '76, K) 1♀
- C : 「ハコネウツギ類 (ハコネウツギ, タニウツギ, ニシキウツギ)」 実谷では,  
タニウツギをビートして得た.
5. *Abia iridescens* MARLATT, 1898 アカガネコンボウハバチ
- A : 苫田郡一花知山 (June 26, '66, 浅野憲一) 1♀; 真庭郡一新庄村 (June 20, '70,  
M) 1♂, 中蒜山 (June 27, '76, K) 1♀
- C : 「ウメモドキ」
- D : 県北部で採集できるが個体数は少ない.
6. *Zeraea akebii* TAKEUCHI, 1931 アケビコンボウハバチ
- A : 備前市一閑谷 (Apr. 12, '64, K) 1♀10♂; 阿哲郡一大佐町 (May 30, '65, K)  
2♀1♂; 苫田郡一奥津町 (May 15, '66, K) 2♀♀, 恩原川 (June 8, '75, K)  
幼虫 3exs.; 川上郡一地頭 (May 11, '75, K) 幼虫 1 ex.
- B : 食草アケビの分布からみて, 県下に広く分布しているものと思われる.
- C : アケビ\* 「アケビ類 (ミツバアケビ)」
- D : 苫田郡一三子原 (June 1, '75, K) アケビの幼虫 3 exs. → (Apr. 10, '76) 1♀羽化 (Apr. 17, '76) 寄生バエ 1 ex. 羽化
7. *Z. lewisii* (CAMERON, 1886) ヒメコンボウハバチ
- A : 倉敷市一連島町 (Apr. 7, '62, 浅野憲一) 1♀1♂; 高梁市一佐与谷 (Apr. 14,  
63, K) 1♀1♂, 玉川 (Apr. 13, '69, K) 2♂♂; 備前市一閑谷 (Apr. 14, '68, K)  
1♂; 総社市一美袋 (Apr. 20, '69, K) 1♂
- B : 食草スイカズラの分布からみて, 前種同様県下に広く分布しているものと思われる.
- C : スイカズラ\* 「スイカズラ類 (ヤマウグイスカズラ), 同属の他種も食うと思  
う.」
- D : 倉敷市一連島町 (1963) のスイカズラで, 若令幼虫多数を目撃したことがある.
8. *Z. triangularis* TAKEUCHI, 1931 フトオビコンボウハバチ
- A : 真庭郡一蒜山 (May 24, '64, K) 1♀, 湯原町 (Apr. 28, '64, 重井博) 1♀, (June  
9, '74, K) 1♀, 新庄村 (June 9, '74, K); 阿哲郡一大佐町 (May 30, '65, K)  
1♂
- B : 県北部でわずかに記録している.
- C : 「タニウツギ」
- D : 真庭郡一蒜山 (May 24, '64, K) 1♀はタニウツギの花をビートして得た.
9. *Praia ussuriensis* MALAISE, 1939 シマコンボウハバチ
- A : 新見市一井倉 (Apr. 12, '64, M) 1♀

C : 「ソメイヨシノ」

*Family DIPRLONIDAE* マツハバチ科

*Subfamily MONOCTENINAE* ネズハバチ亜科

1. *Monoctenus nipponicus* TAKEUCHI, 1940 ネズハバチ

A : 倉敷市一連島町 (Apr. 15, '62, M) 1 ♀; 高梁市一玉川 (May 3, '63, K) 1 ♀

B : 飼育した結果、発生は年1回と思われる。

C : ネズ\*

D : 倉敷市一連島町 (May 18, '74, K) ネズの幼虫10exs. → (Apr. 13~24, '75) 3 ♀

♀6 ♀羽化, (May 26, '74, K) ネズの幼虫10exs. → (Apr. 13~24, '75) 3 ♀♀

6 ♀羽化, (June 18, '74, K) ネズの幼虫10exs. → (Apr. 19, '75) 2 ♀♀1 ♀羽化。

県南部では、5月中旬から6月上旬ごろネズをビートすれば、幼虫は容易に得られる。

*Subfamily DIPRIONINAE* マツハバチ亜科

2. *Nesodiprion japonica* (MARLATT, 1898) マツノミドリハバチ

A : 都窪郡一水別 (Apr. 7, '68, K) 1 ♀; 川上郡一穴門山 (May 2, '72, K) 1 ♀

C : 「ヒマラヤスキ, カラマツ, マツ類 (アカマツ, ダイオウショウ, ストローブマツ, テーダマツ, リュウキュウマツ)」

D : 川上郡一穴門山 (Oct. 30, '71, K) のアカマツで鮮緑色の本種中令幼虫? を数頭得たが飼育に失敗している。

3. *Neodiprion sertifer* (GEOFFROY, 1785) マツノキハバチ

A : 倉敷市一羽島山<sup>22)</sup> (May 12, '51, 白神昭) 幼虫; 苫田郡一上斎原 (June 15, '75, K) 幼虫多数; 高梁市一川面 (May 14, '76, M) 幼虫多数

B : 飼育の結果年2回は発生している。

C : アカマツ\*, 「マツ類 (アカマツ, クロマツ, ハイマツ)」

D : 苫田郡一三子原 (June 1, '75, K) 幼虫多数 → (Oct. 10~12, '75) 113 ♀♀28 ♀羽化, 福見 (June 1, '75, K) 幼虫多数 → (Oct. 10~12, '75) 1 ♀6 ♀羽化; 真庭郡一新庄村 (June 6, '76, K) 幼虫多数 → (Oct. 14, '76) 4 ♀♀3 ♀羽化

4. *Diprion nipponica* ROHWER, 1910 マツノクロホシハバチ

A : 倉敷市一由加山<sup>1)</sup> (May 28, '76, K) 1 ♀, (May 23, '75, K) 1 ♀

C : 「カラマツ, マツ類 (アカマツ, ダイオウショウ)」

D : 由加山ではいずれも、マツクイムシ防除のためのヘリコプターによる薬剤散布後、アカマツ下に落下していたものを採取した。

参 考 文 献

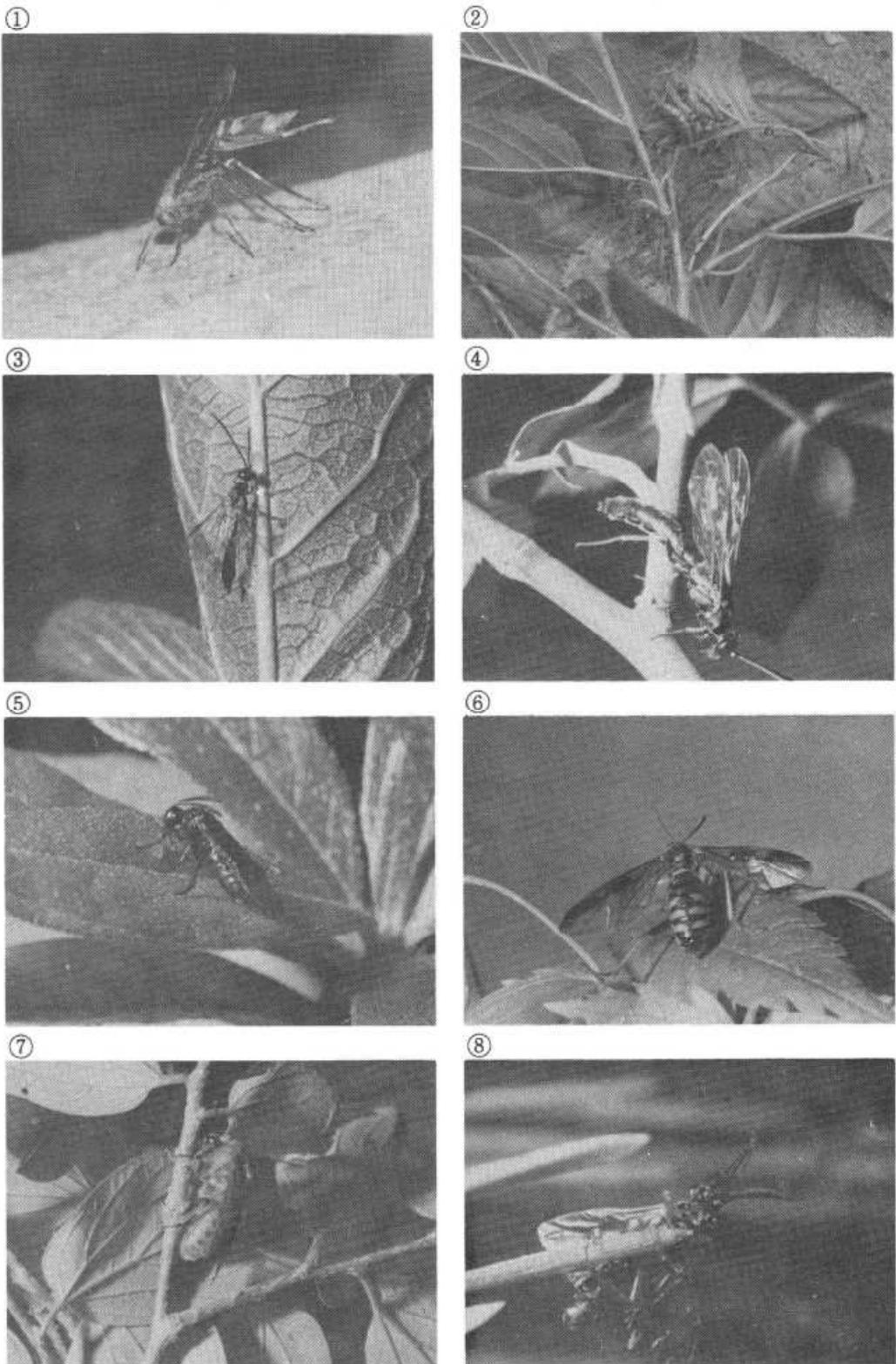
- 1) 宇野弘之・青野孝昭・近藤光宏・重井博 (1975), マツクイムシ防除のために空散したスミチオンによる昆虫類の直接的被害について (遺伝, Vol. 29, No. 10, P. 104~111)

- 2) 奥谷禎一 (1967), 日本産広腰亜目 (膜翅目) の食草 (I) (応動昆, Vol. 11, No. 2, P. 43~49)
  - 3) ——— (1970), 日本産広腰亜目 (膜翅目) の食草 (III) (応動昆 Vol. 14, No. 1, P. 25~28)
  - 4) ——— (1974), 日本の広腰亜目III (昆虫と自然, Vol. 9, No. 6, P. 9~12)
  - 5) ———・近藤光宏・三宅宗夫 (1974), ナギナタハバチの生活史についての知見 (応動昆中国支部会報, No. 16, P. 48)
  - 6) ——— (1974), 中国山脈東端の昆虫相 (東中国山地自然環境調査報告 P.193~197)
  - 7) 倉敷昆虫同好会 (1968), 岡山の昆虫 (岡山文庫 18)
  - 8) 倉敷市企画部 (1976), 倉敷の自然
  - 9) 近藤光宏 (1961), ヒラアシキバチの記録とその一生態断片 (すずむし, 11(2))
  - 10) ——— (1961), 科学作品展の中から *Sympyta* (広腰亜目) 及び 2-3 の *Apocrita* (細腰亜目) (すずむし, 11(2))
  - 11) ——— (1961), *Sympyta* 第2報 (すずむし, 11(2))
  - 12) ——— (1962), 今年の科学作品展に見られた蜂 2・3 (すずむし, 12(4))
  - 13) ——— (1963), ホシアシブトハバチを探集 (すずむし, 13(1))
  - 14) ——— (1964), 県下で記録されたウスモンヒラタハバチ (すずむし, 16(1))
  - 15) ——— (1964), アケビコンボウハバチ羽化に成功 (すずむし, 16(2・3・4))
- 

### 図 版 説 明

- ① *Tremex longicollis* KONOW ヒラアシキバチ  
エノキに産卵中の♀, 倉敷市川入, Sep. 22, '74
- ② *Neurotoma iridescent* ANDRÉ サクラヒラタハバチ  
ソメイヨシノに発生した幼虫, 倉敷市鶴形, May 25, '72
- ③ *Hartigia agilis* SMITH オオバラクキバチ  
ノイバラ? から羽化した♀, 倉敷市浅原, Apr. 26, '75
- ④ *Sinicephus giganteus* ENDERLEIN チシャノキクキバチ  
チシャノキの茎から羽化した♀, 倉敷市林, Apr. 27, '75
- ⑤ *Arge similis* VOLLENHOVEN ルリチュウレンジ  
公園のサツキ? から羽化した♀, 倉敷市由加山, May 1, '75
- ⑥ *Leptocimbex yorofui* MARLATT ヨウロウアシブトハバチ  
ハウチワカエデ葉上の♀, 苦田郡恩原, June 8, '75
- ⑦ *Agenocimbex jucunda* MOCSÁRY ホシアシブトハバチ  
エノキの茎で産卵態勢をとる♀, 川上郡穴門山, May 11, '75
- ⑧ *Neodiprion sertifer* GEOFFROY マツノキハバチ  
アカマツから羽化した♀, 苦田郡奥津町, June 1, '75

すずむし113号 図版



- 16) ——— (1966), キベリクキバチの食草を確認 (すずむし, 18 (1))
- 17) ——— (1968), ヒメアトスカシバの新しい食草 (昆虫と自然, Vol. 3, No. 9, P. 24)
- 18) ———・三宅宗夫 (1974), ナギナタハバチの生態観察(II) (ナギナタハバチの生態観察(II) (遺伝, Vol. 28, No. 10, P. 100~102))
- 19) ———・三宅宗夫 (1974), ヒラアシキバチの生態断片 (昆虫と自然, Vol. 9, No. 14, P. 15~18)
- 20) ———・三宅宗夫 (1975), 岡山県の広腰亞目 (膜翅目) その1 ハバチ科 (すずむし, 112)
- 21) 重井博・青野孝昭・小野洋・近藤光宏・林憲一 (1963), 新庄村の昆虫調査報告 (その1) (すずむし, 13 (2))
- 22) 白神昭 (1951), マツノキハバチの天敵ヤニサシガメ (すずむし, 1 (5))
- 23) 竹内吉藏 (1974), 原色日本昆虫図鑑 (保育社, 下P. 112~128)
- 24) ——— (1962), 日本昆虫分類図説 (北隆館, Vol. 2, No. 4)
- 25) 富樫一次 (1965), 原色昆虫大図鑑 (北隆館, Vol. 3, P. 243~254)
- 26) 三宅宗夫・近藤光宏 (1974), ナギナタハバチ幼虫発見までの経過と生態観察 (遺伝, Vol. 28, No. 1, P. 92~95)
- 27) 安江安宣 (1974), 岡山県北部国定公園拡張予定地域の昆虫類調査報告 (東中国山地自然環境調査報告 P. 163~172)
- 

## 柵原町の蝶2種

久米郡柵原町はあまり調査をされていない地域と思われる所以一報しておきます。

- 1) アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY  
柵原町大戸上 V. 5, '76, 1 ex., 採.
- 2) ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* KLUG  
柵原町大戸上 V. 5, '76, 1 ex., 採.

(岸 清巳)

## 久米町のヒロオビミドリシジミ，ウラジロミドリシジミ等の分布について

尾 塔 順 三 (〒710 倉敷市美和2丁目15-15)

久米町におけるゼフィルスは、昨年筆者によって里公文から、ヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、ウスイロオナガシジミが多數生息していることが確認された。  
(すずむし、112号)

その後、3月と6月に久米町内数ヶ所、及び旭町の一部について採卵、成虫採集を試み、かなりの成果を得た。

久米町はチョウはもとより、昆虫相の調査はほとんど行われておらず、100~400mの低山地にはクヌギ、ナラガシワ等の雜木林も多く、今後の調査により多くの成果が期待できる。

今年は町内6ヶ所のナラガシワ林を調査し、そのすべてからウラジロミドリシジミを、4ヶ所からヒロオビミドリシジミを発見したことから推察して、久米町周辺のナラガシワ林には、そのほとんどに両種が混棲しているのであろう。

ヒロオビミドリシジミは久米郡中央町、久米南町でも難波通孝氏によって分布が確認されていることや、津山市・真庭郡勝山町の記録などから考えて、美作地方では珍しくないチョウではないかと思われる。県内の分布北限も興味あることだし、今後の同好諸氏による調査を期待してデータを発表することにした。

### 1) ヒロオビミドリシジミ *Favonius latifasciatus* SHIRŌZU et HAYASHI

久米郡久米町神代、(ナラガシワ、2卵 Mar. 29, '76)；油木北、(ナラガシワ、2卵 Mar. 29, '76)；坪井下、2♀♂、June 20, '76；南方中、4♀♂、June 20, '76

### 2) ウラジロミドリシジミ *Favonius saphirinus* STAUDINGER

久米町神代、(ナラガシワ、3卵 Mar. 29, '76)；油木化、(ナラガシワ、2卵 Mar. 29, '76)；2♀♂1♀目撃、June 20, '76；坪井下、(ナラガシワ、10卵 Mar. 30, '76)；3♀♂目撃、June 20, '76；宮部下、(ナラガシワ、5卵 Mar. 30, '76)；南方中、(ナラガシワ、15卵 Mar. 30, '76)；一色、(ナラガシワ、8卵 Mar. 30, '76)；多數目撃、June 20, '76；旭町北、(ナラガシワ、1卵殻、Mar. 30, '76)；1♀、June 20, '76

### 3) ウスイロオオガシジミ *Antigius butleri* FENTON

久米町南方中、1♀、June 20, '76

産卵位置は従来の報告と同じくウラジロミドリシジミは小枝分岐部の上下に3~6個の卵塊が多く、休眠芽基部にも1卵ずつ見られた。

ヒロオビミドリシジミは少し太い枝の分岐部や樹皮のさけ目に1~2卵ずつであった。

久米町里公文において、多數のヒロオビミドリシジミが午後3~4時頃、日光を浴びて2~3頭ずつ口巴をくり返しながら、次から次へと占有活動をする様子はまさに壯觀であった。

## 話題の蛾の岡山県内記録について

宇野弘之・楳本精二

筆者らは、1975年から県下の蛾の分布について採集調査を続けているが、今までの採集記録の中から、蛾類通信で話題になった蛾について記録する。

### 1. *Pseudalelimma miwai* INOUE オオキイロアツバ

1965年井上寛氏により新属新種として発表され、鈴鹿山地が産地として記録された。岡山県では1966年に赤枝が那須と共に新見市井倉で初めて記録して以後記録がなかつたが、今回の調査で同一箇所で夜間水銀灯に飛来していたのを採集し、引き続き発生していることが判明した。

7.VI.'76 1♂, 1♀ 新見市井倉 宇野。

### 2. *Dysgonia mandschuriana* (STAUDINGER) タイリクアシブトクチバ

5.V.'75 2exs. 総社市昭和町延原 宇野。

22.V.'76 新見市井倉 宇野。

1968年杉繁郎・朴世旭両氏により、山本義丸氏が幼虫を採集飼育し、羽化させたアシブトクチバの一一種と、朝鮮半島からの採集品により発表され、楳本により自然状態での発生が岡山県で確認された。

以後毎年採集されているが、高梁川水系以外では、倉敷市児島由加山以外に記録がない。

### 3. *Cymalophoropsis unca* (HOULBERT) ホソバミツモンケンモン

1970年杉繁郎氏が韓国南部、本州西部（広島県、岡山県）および四国東南部（徳島県、高知県）からの採集品により、ミツモンケンモンと分離した種で、以後矢野重明が新見市河本ダムで採集したのを拝見した。

3.IX.'75 高梁市近似 太陽ボウル 宇野。

25.V.'76 川上郡備中町 田原ダム 宇野。

5.VI.'76 田原ダム 宇野。

12.VI.'76 高梁市 畠牛山 楠本。

吉備高原とその周辺地で採集されており、年2回の発生と思われる。

### 4. *Cnethodonta baibarana* MATSUMURA バイバラシロシャチホコ

3.VII.'75 阿哲郡神郷町 新郷駅 楠本。

29.VII.'75 新郷駅 楠本。

27.VII.'75 2exs. 御津郡建部町 旭川ダム 宇野。

19.VI.'76 苦田郡上斎原村 赤和瀬南 宇野。

13. VII. '76 川上郡備中町 新成羽川ダム 宇野.  
 20. VII. '76 臥牛山 横本  
 8. VIII. '76 苫田郡奥津町 森林公園 宇野.  
 5. *C. grisescens* STAUDINGER シロシャチホコ  
 5. VIII. '75 真庭郡湯原町 湯原ダム 宇野.  
 3. IX. '75 新成羽川ダム 宇野.  
 26. VI. '76 真庭郡川上村 野土路峠 宇野.  
 30. VII. '76 新成羽川ダム 宇野.  
 11. VIII. '76 3 exs. 真庭郡中和村 津黒山 宇野.  
 19. VIII. '76 真庭郡川上村 蒜山有料道路 横本.

1973年神保一義氏により分離されたもので、従来の記録に *baibarana* と *grisescens* が混じっていたことは明らかで、今回はじめて両種別の記録をした。種の識別点については全部第8腹節腹板を観察した。

採集記録が少ないので、両種の混棲を確認することが出来なかつたが、両種とも採集出来たところは、新成羽川ダム1箇所だけで、採集日に17日の隔たりがあり、混棲しているとは言い切れなかつた。他は採集地・日時ともに隔たりがあり、今後調査の進展することに期待する。

6. *Numenes albofascia* (LEECH) シロオビドクガ  
 3. VII. '75 ♂ 新郷駅 横本.  
 14. VIII. '75 ♀ 旭川ダム 宇野.  
 3. IX. '75 ♀ 新成羽川ダム 宇野.  
 6. IX. '75 ♀ 新郷駅 横本.  
 6. IX. '75 3♀♀ 新見市足立 足立駅 宇野.  
 19. VI. '76 ♂ 津山市福田 山陽ドライブイン 宇野.  
 27. VII. '76 英田郡西粟倉村 ミソギ峠 宇野.  
 7. *N. disparilis* STAUDINGER コシロオビドクガ  
 6. IX. '75 2♀♀ 足立駅 横本・宇野.

1975年井上寛氏によって *Numenes* 属の分割記載がなされた。*allofascia* については別に問題はないが、*disparilis* については1960年に高知県の横倉山で河上友三氏によって採集され、初めて話題になったもので、筆者も本論文を読んでから注意するようになった。

岡山県下では、新見市足立伯備線足立駅のプラットホームの水銀灯に多数飛来していたシロオビドクガの中に混じって採集されたもので、少ないものと思われ、他所では混棲の所見はない。他に中村具見が採集していると本人から聞いたが、データを聞きもらしたので省略した。

8. *Euplexia illustrata* GRAESER シラオビアカガネヨトウ  
 28. VI. '75 苫田郡上斎原村天王 宇野.  
 19. VI. '76 赤和瀬南 宇野.

26. VI. '76 野土路峰 宇野

26. VI. '76 蒜山有料道路 那須.

1975年杉繁郎氏によって、初めて区別点が記載されたもので、岡山県では1966年道信順により初めて記録されて以後、今回まで記録のなかったものである。

今回の記録も全部 *illustata* であり、*albovittata* MOORE マエグロシラオビアカガネヨトウは発見されなかった。

#### 9. *Meganola gigantoides* INOUE オオマエモンコブガ

1961年井上寛氏により新種として記載され、1970年に図示されたもので、群馬・長野・福井の各県から採集されている。今回の調査で、岡山県から初記録されたもので前翅の紋様が一致し、他種と間違えることはない。

30. VII. '76 蒜山有料道路 槙本.

11. VII. '76 津黒山 宇野.

### 参 考 文 献

- INOUE, H., 1965. A new genus and species of the Herminiinae, Noctuidae, from Japan. *Kontyû*, 33(2): 221-222
- 赤枝一弘 1967. 岡山県で採集した比較的珍らしい蛾について 蛾類通信 (47) : 476-477
- 杉繁郎, 1968. 日本未記録のアシブトクチバの一種 *Dysgonia mandschuriana* (STAUDINGER) について 蛾類通信 (54) : 597-599
- , 1969. タイリクアシブトクチバ岡山県に産す 蛾類通信 (58) : 681
- INOUE, H., 1970. Five new species, one new subspecies, and notes on five species of the Nolidae from Japan (LEPIDOPTERA)  
Japan Entomological Academy 6 (1): 1-15
- 杉繁郎・朴世旭 1970. 済州島および日本西部で発見された *Cymalophoropsis unca* (HOULBERT, 1921) について 蛾類通信 (63) : 46-47
- 神保一義 1973. 日本におけるバイバラシャチホコの発見とシロシャチホコについて 蛾類通信 (75) : 245-248
- 井上寛 1975. 日本とその周辺のシロオビドクガ属について 蛾類通信 (83) : 377-383
- 杉繁郎 1975. 日本未記録種 *Euplexia allovittata* MOORE マエグロシラオビアカガネヨトウ (新称) について 蛾類通信 (84) : 396-401

### モンクロベニカミキリの記録

本種はあまり多くない種と思うので報告しておきます。

1 ex., 久米郡久米南町中糸, V. 10, '76, 水島靖夫採.

(水島 靖夫)

## 高鉢山(鳥取県)のカミキリムシ

那須 敏 (〒704 岡山市可知4の23の4)

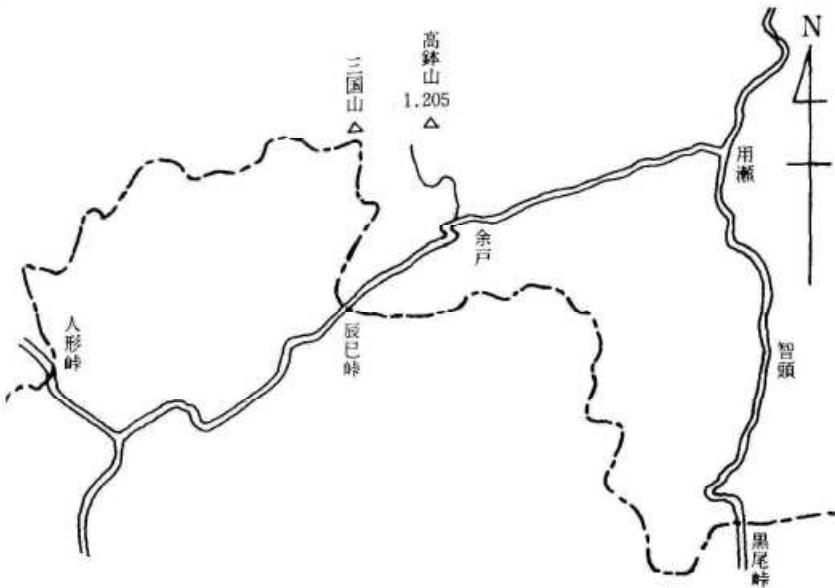
山地 治 (〒700 岡山市幸町9の9)

中国山地の東部地域におけるカミキリムシについては、すでに本誌108号の「音水及び坂谷国有林(兵庫県)のカミキリムシについて」の106種、「臥牛」No.3の「三ヶ上産カミキリメモ」の110種(その後追加された)があるが、わずか1シーズン半の調査で144種ものカミキリが採集された当地を今回は山陰側の記録として報告することも無意味ではないと思われる。

報告にあたっては、現地への案内など大へんお世話になった津山の竹内幸夫・福田元信両先生、日頃より我々に同行して下さる脇本浩先生、採集仲間の渡辺昭彦・分島徹人両君には紙上ながら御礼申しあげます。

### (採集地説明)

当地へは岡山からの場合、黒尾峠越えと辰巳峠越えがあるが、辰巳峠は未舗装であり、かなり悪路なので距離は長いが黒尾峠の方が快適であろう。用瀬より佐治谷をさかのぼ



り、余戸で右へ猿渡橋を渡ると約10kmの川奥林道へ入る。標高約800mの所で通行止めとなつており、ここから200mの所に最初の土場がある。更に奥へ約2km(この間は大型トラックが通れる道幅がある)行くと2つめの土場があり、採集場所はこれら2つの土場とその周辺となる。あたりはブナ・ミズナラ・トチなどの巨木が原生的な形で残されており、その他広葉樹は種類も豊富であるが針葉樹はわずかにスギの大木を数本認めるのみで、当地では針葉樹につくカミキリムシは極めて貧弱であるが訪花性のカミキリムシの好むカエデ類・ミズキ・ゴトウヅル・ヤマボウシ・リョウブは多く見られるが、サワフタギは少な

く、ノリウツギは全く見られない。土場の状態は毎回行くごとに変化するが、周辺にそれらの伐採枝が豊富で、これらの叩き網が非常に有効であった。

(注) 1. 両名の筆者が採集したものは採集者名を省いた。

2. 学名の前の\*印は「東中国山地自然環境調査報告」における鳥取県の当地域の目録に載っていない種である。

### 高鉢山産カミキリムシ目録

#### Prioninae ノコギリカミキリ亜科

1. *Megopis sinica* WHITE ウスバカミキリ

2 exs., 8. VIII. '76, 渡辺採.

ブナ立枯のくぼみにて採集。

2. *Prionus insularis* MOTSCHULSKY ノコギリカミキリ

3 exs., 18. VIII. '76

3. *Psephactus remiger* HAROLD コバネカミキリ

1 exs., 18. VII. '76, 渡辺採; 6 exs., 25. VII. ~ 8. VIII. '76

ブナ立枯のくぼみ及び樹皮下などで採集されたが、うち1♀はそのくぼみ内でスジクワガタの♀にかみ殺されていたもの。恐らく生活圏を争った結果であろう。

#### Disteniinae ホソカミキリ亜科

4. *Distenia gracilis* (BLESSIG) ホソカミキリ

2 exs., 7. VIII. ~ 10. VIII. '75; 3 exs., 4. VII. ~ 1. VIII. '76

枯枝の叩き網などで採集。

#### Lepturinae ハナカミキリ亜科

5. *Encyclops olivacea* BATES テツイロハナカミキリ

1 ex., 23. V. '76; 1 ex., 6. VI. '76

カエデ花上及び枯枝の叩き網にて採集。

6. *Toxotinus reini* HEYDEN モモグロハナカミキリ

2 exs., 13. VI. '76

日陰のショウマ類葉上にて採集。

7. *Gaurotes doris* BATES カラカネハナカミキリ

many exs., 23. V. ~ 4. VII. '76

花上及び土場の伐木に飛来、個体数は多いようである。

8. *Lemula nishimurai* SEKI アカイロニセハムシカミキリ

1 ex., 20. VI. '76

ヤマボウシ花上にて採集。

9. *L. decipiens* BATES キバネニセハムシカミキリ

1 ex., 6. VI. '76; 1 ex., 13. VI. '76

ゴトウヅルの花上にて採集。

10. *Acmaeops minuta* (GEBLER) ヒナルリハナカミキリ

1 ex., 6. VI. '76; 1 ex., 13. VI. '76

以下の10種とともにゴトウヅルの花上にて採集。

11. *Pidonia simillima* OHBAYASHI et HAYASHI ニセヨコモンヒメハナカミキリ

1 ex., 29. VI. '75; many exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76

- 12\* *P.* sp.

many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76

前種の♀に似るがむしろ *P. chujoi* の♀に酷似する。頭・前胸の背面は黒色であるが、頭の両端が赤かっ色のものも少數あり1個体は頭が全く赤かっ色、胸部背面にも縦に赤かっ色のすじがはいっている。♀♀共きやばねの黒紋はほとんど差異がなく♀の黒紋がやや大きい程度。前種♀との相違点は、きやばねの合わせ目は黒くなく、黒紋は退化して小さく、腹面はほぼ全体にわたり淡黄かっ色である。きやばねの地色のかっ色も前種、*P. chujoi* に比べ淡くうすい。鳥取県大山、岡山県若杉峠でも少數得ているが、当地では前種よりも更に多くゴトウヅル、ヤマボウシなどの花上で採集された。体長 6 ~ 8 mm

13. *P. amentata* (BATES) セスジヒメハナカミキリ

3 exs., 6. VI. '76

14. *P. miwai* (MATSUSHITA) ミワヒメハナカミキリ

1 ex., 29. VI. '75; 1 ex., 6. VI. '76; 1 ex., 13. VI. '76

15. *P. puziloi* (SOLSKY) フタオビチビハナカミキリ

2 exs., 20. VI. '76

16. *P. debilis* (KRAATZ) チャイロヒメハナカミキリ

many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76

17. *P. signifera* (BATES) ナガバヒメハナカミキリ

many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76

- 18\* *P. mutata* (BATES) ヒメハナカミキリ

1 ex., 6. VI. '76

ゴトウヅルの花上で採集されたが少ないようである。

- 19\* *P. muneaka* TAMANUKI ムネアカヒメハナカミキリ

many exs., 6. VI. ~ 13. VI. '76

20. *P. grallatrix* (BATES) オオヒメハナカミキリ

1 ex., 29. VI. '75; many exs., 6. VI. ~ 13. VI. '76

21. *Grammoptera chalybeella* BATES チビハナカミキリ

1 ex., 13. VI. '76

少ないようである。

22. *Anoplodera misella* (BATES) チャボハナカミキリ

1 ex., 29. VI. '75; 4 exs., 20. VI. ~ 4. VII. '76

- 23\* *A. excavata* (BATES) ミヤマクロハナカミキリ

- 1 ex., 29. VI. '75; many exs., 13. VI. ~ 4. VII. '76  
ゴトウヅル, ヤマボウシ, クリの花上にて採集.
- 24\* *Pachypidonia bodemeyeri* PIC ヒゲアトハナカミキリ  
1 ex., 1. VII. '76  
サワグルミの根元近くを飛翔中の♀を採集. 中国地方においては脇本氏の採集された岡山県上齋原村産の1 ♀があるが, 極めて稀なものである.
25. *Brachyleptura pyrrha* (BATES) ヒメアカハナカミキリ  
1 ex., 18. VII. '76; 1 ex., 25. VII. '76  
いずれも土場に飛來したもの.
26. *Corymbia succedanea* (LEWIS) アカハナカミキリ  
many exs., 7. VIII. ~ 10. VIII. '75; many exs., 1. VIII. ~ 8. VIII. '76
- 27\* *Judolia japonica* (TAMANUKI) ヤマトキモンハナカミキリ  
1 ex., 27. VI. '76, 竹内採; 1 ex., 4. VII. '76, 渡辺採.  
クリの花上などで採集されたが少ないものようである.
28. *J. cometes* BATES マルガタハナカミキリ  
1 ex., 18. VII. '76, 渡辺採.  
当地では少ないようである.
- 29\* *Japanostrangalia dentatipennis* (PIC) ヒゲシロハナカミキリ  
1 ex., 25. VII. '76, 目撃; 1 ex., 1. VIII. '76, 渡辺目撃.  
1 ex. は伐木の上をはっていたものを採集し毒びんに入れる際逃がしたものである.  
少ないようである.
- 30\* *Eustrangalis anticereductus* HAYASHI クロサワヘリグロハナカミキリ  
1 ex., 6. VI. '76, 竹内採.  
種名はよくわからないがウツギに似た白色の花上にて採集された♀. 中国地方においては極めて稀なものようである.
31. *Strangalomorpha tenuis* SOLSKY アオバホソハナカミキリ  
6 exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76  
ヤマボウシの花上などで採集.
32. *Parastrangalis nymphula* (BATES) ニンフハナカミキリ  
many exs., 13. VI. ~ 20. VI. '76
- 33\* *P. shikokensis* (MATHUSHITA) タテジマハナカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 6 exs., 4. VII. ~ 18. VII. '76  
ヤマボウシの花上などで採集されているが前種よりは少ない.
34. *Leptura ochraceofasciata* (MOT Schulsky) ヨスジハナカミキリ  
3 exs., 20. VII. ~ 7. VIII. '75; many exs., 20. VI. ~ 8. VIII. '76
35. *L. latipennis* (MATSUSHITA) ハネビロハナカミキリ  
many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76  
古い材に産卵中のものや土場に飛來するものを採集.

36. *L. aethiops* PODA subsp. *dimorpha* BATES ムネアカクロハナカミキリ  
1 ex., 20. VI. '76  
ゴトウヅルの花上にて採集された 1 ♂のみ。
- 37\*. *L. arcuata* PANZER subsp. *tsumagurohana* OHBAYASHI ツマグロハナカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 4 exs., 6. VI. ~ 1. VII. '76  
花上や土場に飛来するものを採集。
- 38\*. *Pedostrangalia femoralis* (MOTSCHULSKY) カタキハナカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76  
ヤマボウシの花上にて採集。少ないようである。
39. *Macroleptura regalis* (BATES) オオヨスジハナカミキリ  
4 exs., 1. VII. '76  
リョウブの花上及び飛翔中のものを採集。
40. *M. thoracica* (CREUTZER) クロオオハナカミキリ  
2 exs., 27. VII. '75; 3 exs., 18. VI. ~ 1. VII. '76  
ブナ立枯にて採集されたが少ないものようである。近くでは氷ノ山、扇ノ山の記録  
がある。
41. *Strangalia contracta* BATES ミヤマホソハナカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 3 exs., 4. VII. '76  
ヤマボウシの花上などで採集。
42. *Corennyss sericata* BATES キヌツヤハナカミキリ  
8 exs., 20. VI. ~ 25. VII. '76  
すべてブナ立枯にて採集。
- 43\*. *Necydalis odai* HAYASHI ヒゲシロホソコバネカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76  
叩き網にて得られた 1 ♂のみ、極めて珍らしいもので近くでは那岐山での記録がある。

### Cerambycinae カミキリ亜科

44. *Xystrocera globosa* (OLIVIER) アオスジカミキリ  
1 ex., 17. VII. '76, 渡辺採。  
夜間採集にて燈火飛来。
45. *Stenodryas clavigera* BATES アメイロカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76, 渡辺採; 1 ex., 1. VIII. '76  
クリ及びリョウブ花上にて採集。
46. *Obrium longicorne* BATES ヒゲナガアメイロカミキリ  
3 exs., 13. VI. '76  
ゴトウヅルの花ではなく日陰になった葉やツルをすくって得られた。珍らしいもので  
ある。
- 47\*. *Epania septemtrionalis* HAYASHI クロサワヒメコバネカミキリ

- 1 ex., 20. VII. '75; 1 ex., 27. VII. '75  
 いずれも土場の材の近くを飛んでいたもの。近くでは三室山の記録があるが非常に珍らしいものである。
- 48\* *Thranius variegatus* BATES トラフホソバネカミキリ  
 9 exs., 11. VII. ~ 1. VIII. '76  
 林縁のヤマグワ、ミズナラの葉上及びクルミ枯木上で得られた。ほぼ同一場所であるのでその近くで発生していたものであろう。近くでは三室山、氷ノ山の記録がある。
49. *Pyrestes haematicus* PASCOE クスペニカミキリ  
 1 ex., 1. VIII. '76  
 リョウブの花上を飛んでいるものがかなり見られた。
50. *Rosalia batesi* HAROLD ルリボシカミキリ  
 6 exs., 27. VII. ~ 10. VIII. '75; many exs., 25. VII. ~ 8. VIII. '76  
 土場でも見られたが、むしろかなり古い枯木に多く集まっていた。
51. *Leontium viride* THOMSON ミドリカミキリ  
 2 exs., 6. VI. ~ 13. VI. '76
- 52\* *Chloridolum thaliodes* BATES オオアオカミキリ  
 4 exs., 27. VII. '75; 4 exs., 25. VII. ~ 1. VIII. '76  
 ブナ半枯木、サワグルミ生木幹上及びリョウブ花上にて採集。少ないものではない。
53. *Palaeocallidium rufipenne* (MOTTSCHULSKY) ヒメスギカミキリ  
 many exs., 8. VI. '75, 竹内・福田目撃
- 54\* *Phymatodes albicinctus* BATES シロオビカミキリ  
 1 exs., 29. VI. '75; many exs., 6. VI. '76  
 土場周辺の枯枝・枯ヅルに普通。
55. *P. maaki* KRAATZ アカネカミキリ  
 3 exs., 6. VI. '76  
 枯ヅルで採集されたが前種より少ないようである。
- 56\* *Xylotrechus yanoi* GRESSITT ヤノトラカミキリ  
 1 ex., 3. VII. '75, 竹内採; 1 ex., 3. VII. '75, 池田採; 1 ex., 10. VII. '75, 分島採; 1 ex., 8. VIII. '76  
 1975年のものはすべて土場に飛來したもので今年はケヤキの折れた枝の叩き網で得られた。食樹と思われるエノキもわずかながら見られ、近くでは氷ノ山、扇ノ山で2例の記録がある。珍らしいものである。
57. *X. emaciatus* BATES ニイジマトラカミキリ  
 5 exs., 20. VII. ~ 27. VII. '75; many exs., 25. VII. ~ 1. VIII. '76  
 土場の伐採木上に普通
58. *X. clarinus* BATES ツマキトラカミキリ  
 7 exs., 29. VI. '75; 1 ex., 18. VII. '76
59. *X. grayii* (WHITE) ムネマダラトラカミキリ

- 1 ex., 1. VIII. '76 脇本採.  
 他に目撃例が1つあるが少ないものようである.
60. *X. cuneipennis* (KRAATZ) ウスイロトラカミキリ  
 many exs., 29. VI. ~ 20. VII. '75; many exs., 20. VI. ~ 3. X. '76  
 伐採木上に普通に見られるが、秋に採集された1♀は遅い記録である.
61. *X. rufilius* BATES クビアカトラカミキリ  
 6 exs., 20. VII. ~ 10. VIII. '75
62. *Plagionotus christophi* (KRAATZ) クリストフコトラカミキリ  
 1 ex., 20. VI. '76 渡辺採  
 土場の伐採木上で得られた。少ないものようである.
63. *Clytus melaenus* BATES シラケトラカミキリ  
 4 exs., 29. VI. ~ 20. VII. '75; many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76
64. *C. auripilis* BATES キンケトラカミキリ  
 1 ex., 29. VI. '75; 6 exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76  
 ゴトウヅルの花上及び伐採木上にて採集.
65. *Cyrtoclytus caproides* (BATES) キスジトラカミキリ  
 1 ex., 20. VI. '76; 1 ex., 25. VII. '76  
 7月に葉上で採集されたものは初めから両方のさやばねがない奇型である.
66. *Brachyclytus singularis* KRAATZ アカネトラカミキリ  
 many exs., 18. IV. '76, 福田・竹内採.  
 ブドウ枯ヅルより羽化脱出したもの.
67. *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT) エグリトラカミキリ  
 many exs., 29. VI. ~ 27. VII. '75; many exs., 20. VI. ~ 8. VIII. '76
68. *C. diadema* (MOTSHULSKY) subsp. *kurotora* HAYASHI クロトラカミキリ  
 3 exs., 20. VII. ~ 10. VIII. '75  
 土場の伐採木上にて採集。少ないようである.
69. *C. muscosus* (BATES) フタオビミドリトラカミキリ  
 many exs., 20. VII. ~ 10. VIII. '75; many exs., 25. VII. ~ 8. VIII. '76  
 伐採木及び花上にて極めて普通にみられる.
70. *C. diminutus* (BATES) ヒメクロトラカミキリ  
 1 ex., 13. VI. '76; 1 ex., 20. VI. '76
71. *Demonax transilis* BATES トゲヒゲトラカミキリ  
 3 exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76
72. *Grammographus notabilis* (PASCOE) キイロトラカミキリ  
 3 exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76  
 伐採木上にて採集されたが当地では少ないようである.
73. *Hayashiclytus acutivittis* (KRAATZ) カンボウトラカミキリ  
 4 exs., 13. VI. ~ 25. VII. '76

ゴトウヅル花上などで採集されたが少ないものようである。扇ノ山での記録がある。

74. *Anaglyptus niponensis* BATES トガリバアカネトラカミキリ  
many exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76  
次2種と共にゴトウヅルの花上などで採集。
75. *A. matsushitai* HAYASHI マツシタトラカミキリ  
many exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76
76. *Paraclytus excultus* BATES シロトラカミキリ  
many exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76
77. *Purpuricenus spectabilis* MOTSCHULSKY ヘリグロベニカミキリ  
1 ex., 8. VI. '75, 福田採; 1 ex., 13. VI. '76, 福田採; 1 ex., 18. VII. '76, 福田採。  
いずれも土場に飛来したものを探集。

### Lamiinae フトカミキリ亜科

78. *Falsomesosella gracilior* (BATES) シロオビゴマフカミキリ  
4 exs., 4. VII. ~ 25. VII. '76  
クルミ枯枝などで採集。
79. *Mesosa myops* DALMAN subsp. *japonica* BATES ゴマフカミキリ  
2 exs., 6. VI. '76  
以下の3種と共に土場の伐採木上にて採集。
- 80.\* *M. longipennis* BATES ナガゴマフカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; 1 ex., 4. VII. '76; 1 ex., 1. VIII. '76
81. *M. senilis* BATES タテスジゴマフカミキリ  
3 exs., 20. VI. ~ 1. VIII. '76
82. *M. hirsuta* BATES カタシロゴマフカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; 4 exs., 25. VII. ~ 3. X. '76  
10月の採集行でも生き残りの2頭が見られた。個体数は多いようである。
- 83.\* *Asaperda agapanthina* BATES シナノクロフカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; 1 ex., 4. VII. '76  
叩き網にて得られたが少ないようである。
84. *A. rufipes* BATES キクスイモドキカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; many exs., 23. V. ~ 4. VII. '76
- 85.\* *Atimura japonica* BATES コブスジサビカミキリ  
1 ex., 11. VII. '76, 福田採
86. *Xylariopsis mimica* BATES クビシロカミキリ  
11exs., 6. VI. ~ 17. VII. '76  
土場の伐採枝にからんだツルウメモドキの枯ヅルに集まっているものが採集された。  
7月17日の1 ex. は夜間採集にて燈火飛來のもの。
- 87.\* *Sybra sakamotoi* (HAYASHI)subsp. *kuri* OHBAYASHI et HAYASHI クリチビカミキリ

1 ex., 13. VI. '76

叩き網にて得られたが、少ないようである。

88.\* *S. unifasciata* FUJIMURA ヒトオビチビカミキリ

2 exs., 25. VII. '76; 2 exs., 8. VIII. '76

同一場所の枯枝の叩き網で得られたが珍らしい種である。

89.\* *Pseudocalamobius japonicus* (BATES) ドウボソカミキリ

2 exs., 6. VI. '76

90.\* *Cleptometopus bimaculatus* (BATES) ハスオビヒゲナガカミキリ

1 ex., 18. VII. '76, 渡辺採

灌木の叩き網にて得られた1頭のみ。附近にキイチゴ類は多く自生している。

91. *Pterolophia caudata* (BATES) トガリシロオビサビカミキリ

3 exs., 4. VII. ~ 8. VIII. '76

以下の6種と共に枯枝や伐採枝で得られる。

92.\* *P. leiopodina* (BATES) ヒメナガサビカミキリ

many exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76

93.\* *P. japonica* (BATES) エゾサビカミキリ

2 exs., 29. VI. '75; many exs., 6. VI. ~ 13. VI. '76

94. *P. zonata* (BATES) アトジロサビカミキリ

1 ex., 4. VII. '76; 1 ex., 25. VII. '76

95.\* *P. castaneivora* OHBAYASHI et HAYASHI クリサビカミキリ

3 exs., 29. VI. '75; 4 exs., 13. VI. '76

個体数はあまり多くないようである。

96.\* *P. granulata* (MOTSCHULSKY) アトモンサビカミキリ

1 ex., 6. VI. '76; 1 ex., 20. VI. '76, many exs., 3. X. '76

秋に新成虫となりそのまま越冬する。

97. *P. jugosa* (BATES) ナカジロサビカミキリ

1 ex., 20. VI. '76; 1 ex., 8. VIII. '76

98. *Mesosella simiola* BATES クワサビカミキリ

1 ex., 6. VI. '76

99.\* *Egesina bifasciata* (MATSHISHITA) ニイジマチビカミキリ

1 ex., 27. VII. '75; many exs., 4. VII. ~ 1. VIII. '76

枯枝の叩き網で多数落ちる。

100. *Parechthistatus gibber* (BATES) ヒメコブヤハズカミキリ

3 exs., 13. VI. ~ 20. VI. '76; 1 ex., 3. X. '76

朽木上及び秋の新成虫は叩き網にて得られた。個体数は多くない。

101.\* *Psacothaea hilaris* (PASCOE) キボシカミキリ

1 ex., 25. VII. '76

102. *Uraecha bimaculata* THOMSON ヤハズカミキリ

- 1 ex., 4. VII. '76; 1 ex., 1. VIII. '76
103. *Xenicotela pardalina* (BATES) チャボヒゲナガカミキリ  
1 ex., 17. VII. '76  
夜間伐採木上にて採集.
- 104\*. *Nanohammus rufescens* BATES クリイロシラホシカミキリ  
1 ex., 10. VI. '76  
ヤマボウシの葉上にて採集された1♂のみ、少ないようである.
105. *Monochamus subfasciatus* (BATES) subsp. *subfasciatus* (BATES) ヒメヒゲナガカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76
106. *Acalolepta fraudatorix* (BATES) ピロウドカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; many exs., 4. VII. ~ 8. VIII. '76
- 107\*. *A. sejuncta* (BATES) ニセピロウドカミキリ  
3 exs., 6. VI ~ 20. VI. '76, サワグルミより羽化脱出、福田; 1 ex., 1. VIII. '76
108. *Palimna liturata* (BATES) ヒゲナガゴマフカミキリ  
many exs., 20. VII. ~ 27. VII. '75; 2 exs., 1. VIII. '76  
ブナの半枯木に交尾中のものなど非常に多く集まっていた.
- 109\*. *Rhodopina lewisi* (BATES) セミスジコブヒゲカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76  
クリの枯枝の叩き網にて採集.
110. *Olenecamptus formosanus* PIC タカサゴシロカミキリ  
1 ex., 20. VI. '76, 福田採.  
サワグルミより羽化脱出したもの.
111. *Pogonocherus reminiveus* BATES ネジロカミキリ  
2 exs., 3. X. '76  
枯枝の叩き網にて採集されたがこのまま成虫越冬するものであろう.
- 112\*. *Cylindilla grisescens* BATES ハイイロツツクビカミキリ  
2 exs., 4. VII. '76, 渡辺採.  
枯枝の叩き網にて得られたが少ないものようである.
- 113\*. *Eupogoniopsis tenuicornis* (BATES) ホソヒゲケブカカミキリ  
many exs., 20. VI. ~ 25. VII. '76  
枯枝の叩き網に多数落ちる.
114. *Doius divaricatus* (BATES) ドイカミキリ  
7 exs., 23. V. ~ 8. VIII. '76; 2 exs., 3. X. '76  
本種も秋に成虫となり冬を越すものであるが、枯枝などの叩き網で普通に得られる.
- 115\*. *Rhopaloscelis unifasciatus* BLESSIG ヒトオビアラゲカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 1 ex., 6. VI. '76; 1 ex., 4. VII. '76
- 116\*. *R. bifasciatus* KRAATZ フタオビアラゲカミキリ

- 1 ex., 20. VII. '75; many exs., 20. VI. ~25. VII. '76
- 117\* *R. maculatus* BATES フタモンアラゲカミキリ  
many exs., 18. VII. ~1. VIII. '76  
以上3種は枯枝の叩き網で得られるが、本種は特にミズキを好むようである。
- 118\* *Miccolamia verrucosa* BATES チビコブカミキリ  
1 ex., 13. VI. '76  
サワフタギと叩き網にて採集。少ないものようである。
- 119\* *Sybrodiboma subfasciata* (BATES) シロオビチビカミキリ  
1 ex., 20. VII. '75; 1 ex., 20. VI. '76  
枯枝や伐採枝などに非常に多い。
- 120\* *Graphidessa venata* BATES クモノスモンサビカミキリ  
7 exs., 23. V. ~25. VII. '76; 3 exs., 3. X. '76  
本種も成虫越冬であるが特にミズキの枯枝に多く集まる。
- 121\* *Callapoecus guttatus* BATES ゴイシモモブトカミキリ  
3 exs., 20. VII. ~10. VIII. '75; 3 exs., 25~8. VIII. '76  
枯枝や枯ヅルにて得られるが多いものではない。
122. *Eryssamena saperdina* BATES トゲバカミキリ  
5 exs., 29. VI. ~27. VII. '75; many exs., 20. VI. ~8. VIII. '76
- 123\* *E. sapporensis* (MATSHITA) ホソモモブトカミキリ  
many exs., 8. VIII. '76  
ホオノキに限らずブナ、ミズナラなどの枯枝の叩き網に多数落ちる。個体数は多い。
- 124\* *Miaenia tonsa* (BATES) ケシカミキリ  
1 ex., 4. VII. '76, 渡辺採  
枯枝の叩き網にて採集。少ないようである。
125. *Leiopus stillatus* (BATES) ゴマダラモモブトカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 3 exs., 13. VI. ~25. VII. '75
- 126\* *Exocentrus galloisi* MATSUSHITA ガロアケシカミキリ  
1 ex., 27. VII. '75; many exs., 4. VII. ~25. VIII. '76  
以下の4種と共に伐採枝の叩き網で得られいずれも個体数は多い。
- 127\* *E. lineatus* BATES アトモンマルケシカミキリ  
1 ex., 25. VII. '76
- 128\* *E. testudineus* MATSUSHITA キッコウモンケシカミキリ  
1 ex., 29. VI. '75; 1 ex., 20. VII. '75; many exs., 13. VI. ~4. VII. '76
- 129\* *E. fasciolatus* BATES クモガタケシカミキリ  
6 exs., 20. VII. ~27. VII. '75; many exs., 17. VII. ~8. VIII. '76
- 130\* *E. guttulatus* BATES シラオビゴマフケシカミキリ  
3 exs., 17. VII. ~25. VII. '76
131. *Menesia sulphurata* (GEBLER) キモンカミキリ

5 exs., 29. VI. '75; many exs., 13. VI. ~ 4. VII. '76

伐採枝に飛来するもの及びイタヤカエデ、サワグルミの葉を後食するものを採集。

- 132.\* *Paaeutetrapha eximia* (BATES) フチグロヤツボシカミキリ

1 ex., 25. VII. '76

ホオノキ倒木生葉の叩き網にて得られた1♀のみ、少ないものようである。

133. *P. simulans* (BATES) ニセシラホシカミキリ

many exs., 13. VI. ~ 1. VIII. '76

サワフタギ、ヤマボウシの生葉に多く集まる。

- 134.\* *Paramenesia theaphia* (BATES) ジュウニキボシカミキリ

13exs., 15. VI. ~ 21. VI. '76, センノキより羽化脱出; 1 ex., 4. VII. '76, 脇本;

1 ex., 11. VII. '76, 竹内。

中国地方では珍らしいものであるが、当地にはセンノキの喬木が点在し、その枯枝より羽脱したもの及び葉裏に止まっているものが得られた。しかし、決して個体数が多いとはいえない。

135. *Eutetrapha chrysocloris* BATES ハンノアオカミキリ

6 exs., 29. VI. ~ 10. VIII. '75; many exs., 6. VI. ~ 8. VIII. '76

土場の伐採木に多く集まるが、エノキを後食中のものも得られた。

136. *E. ocelota* BATES ヤツメカミキリ

1 ex., 20. VI. '76

137. *Glenea relicta* PASCOE シラホシカミキリ

3 exs., 29. VI. ~ 20. VIII. '75; 1 ex., 13. VI. '76; 1 ex., 3. X. '76

土場の伐採木に極めて普通であるが、10月に得られた1♀は遅い記録である。

138. *Nupserha marginella* (BATES) ヘリグロリンゴカミキリ

1 ex., 18. VII. '76, 渡辺採。

139. *Oberea nigriventris* BATES ホソツツリンゴカミキリ

1 ex., 1. VIII. '76

シシウドの花の近くを飛翔中のものを採集。少ないものようである。

140. *Epiglenea comes* BATES ヨツキボシカミキリ

1 ex., 29. VI. '75; 4 exs., 13. VI. ~ 25. VII. '76

ウルシ科の立枯木に交尾中のものなど多数集まっていた。

- 141.\* *Eumecocera trivittata* (BREUNING) セミスジニセリンゴカミキリ

5 exs., 6. VI. ~ 4. VII. '76

エノキやオヒヨウの葉裏に集まるものを採集。

- 142.\* *E. unicolor* (KANO) クロニセリンゴカミキリ

3 exs., 6. VI. ~ 20. VI. '76

オヒヨウの葉裏及びトチの枯枝に飛来したものを採集。

- 143.\* *E. anomala* (BATES) シラホシキクスイカミキリ

many exs., 13. VI. ~ 4. VIII. '76

オヒョウの葉裏に集まる習性があり、採集は特に午前中早い方が良い。他の地域ではそんなに多いものではない。

- 144.\* *Nipponostenostola pterocaryai* (HAYASHI) コジマベニスジカミキリ  
 1 ex., 15. VI. '75, 福田採; 1 ex., 13. VI. '76, 竹内採; 1 ex., 13. VI. '76  
 伐採枝及びオヒョウ葉裏にて採集された。近くでは岡山県苦田郡での採集記録がある。

### 参 考 文 献

- 1) 黒田祐一 (1972), 音水及び坂谷国有林 (兵庫県) のカミキリムシについて。すずむし, 第108号。
- 2) 兵庫県・岡山県・鳥取県 (1974), 東中国山地自然環境調査報告。
- 3) 小島圭三・林匡夫 (1969), 原色日本昆蟲生態図鑑 I カミキリ編。

## 今年(1976年)の蝶採集短報

渡 辺 毅  
 (〒718 新見市正田広瀬)

今年の記録より主なもの15種について報告しておきます。

- 1) コツバメ *Ahlbergia ferrea* BUTLER  
 V. 3, '76, 新見市正田にてキリシマに訪花を確認した。
- 2) トラフシジミ *Rapala arata* BREMER  
 V. 10, '76, 新見市坂本, 1 ex. 採集。
- 3) ウスバシロチョウ *Parnassius glacialis* BUTLER  
 V. 20, '76, 新見市菅生用郷 (650m) 1 ex. 採集  
 V. 20, '76, 新見市菅生別所 (500m) 1 ex. 採集。  
 V. 26, '76, 阿哲郡神郷町本村 (350m) 1 ex.  
 V. 26, '76, 阿哲郡神郷町奥谷 (550m) 1 ex.  
 V. 26, '76, 阿哲郡神郷町高瀬川と西川の合流点 (440m) 1 ex.
- 4) スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotes* FRUHSTORFER  
 VI. 1, '76, 阿哲郡神郷町上油野～三室。  
 川原の石の上の鳥糞にとまっていたのを確認採集。
- 5) アサギマダラ *Parantica sita niphonica* MOORE  
 VI. 7, '76, 阿哲郡神郷町釜村奥切谷 1 ex. 目撃。
- 6) ベニモンカラスシジミ *Strymonidia iyonis kibiensis* SHIRŌZU et NANBA  
 VI. 15, '76, 新見市石蟹～哲多町久保井野の坂路。ウツギの花に訪花を確認。
- 7) ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* FENTON  
 VI. 16, '76, 新見市下長屋はせ谷, 1 ex. 採集。

- 8) ウラジロミドリシジミ *Favonius saphirinus* STAUDINGER  
 VII. 16. '76, 新見市下長屋はせ谷, 1 ex. 採集.
- 9) ウラクロシジミ *Iratsume orsedice* BUTLER  
 VII. 17, '76, 阿哲郡神郷町上油野大成, 1 ♀採集. 付近にはマンサクが自生していた.
- 10) ヒメヒカゲ *Coenonympha oedippus oroiius* OKADA et TORII  
 VII. 23, '76, 新見市土橋野. 10数頭を確認, その内3種を採集した. 前翅裏面の眼状紋3対のもの2体と1対のもの1体を確認した.  
 VII. 15, '76, 新見市千屋スキ一場. 1 ex. 採集.
- 11) ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana* BUTLER  
 VII. 29, '76, 新見市豊永日咩宮辺, 1 ♀採集.
- 12) ウラミスジシジミ *Wagimo signata f. quercivora* STAUDINGER  
 VII. 29, '76, 新見市豊永日咩宮周辺, 1 ♀採集.
- 13) ヒメシジミ *Pledejus argus micrargus* BUTLER  
 VII. 8, '76, 阿哲郡神郷町上油野大成, 1 ♀採集.
14. ヒロオビミドリシジミ *Favonius latifasciatus* SHIROZU et HAYASHI  
 VII. 14, '76, 阿哲郡哲多町久保井野, 1 ♀採集.
- 15) オオヒカゲ *Ninguta schrenckii* MENÉTRIÈS  
 VII. 1, '76, 新見市菅生青地, 交尾中のものを採集した.

### イシガケチョウの1記録例

1 ♀, 岡山市郡, 14. X. '72, 原田採.  
 屋内の電灯に飛来したもので極めて新鮮.  
 県下における本種の確実な採集例は極めて少ないが, 福田元信氏が上記の1頭を所蔵されておられるので記録にとどめておきます.  
 なお, 同年は吉田氏らが採集された5頭も岡山市郡であり, 地理的に考えてみると, あるいはそれから生まれた第3化の秋型の可能性もあります.

(那須 敏)

### イシガケチョウを金甲山で採集

今から4年前にイシガケチョウを採集したことがあるので報告しておきます. 採集場所は岡山市郡の金甲山登山口付近で2日間に同じ場所より計5頭を採集し, 個体は新鮮であった.

3 exs., VII. 18, '72, 住屋清治氏採集.

2 exs., VII. 19, '72, 吉田嘉男採集.

(吉田 嘉男)

## 臥牛山のチャボヒゲナガカミキリ

臥牛山よりカラスザンショウの枯枝を持帰ったところ同山未記録のチャボヒゲナガカミキリ *Xenicolela pardalina* (BATES) が羽化脱出したので報告する。

III. 1976 カラスザンショウ枯枝採取。

V. 1976 1 ex. 羽化脱出。

(山地 治)

## ツメアカナガヒラタタマムシを総社市で採集

ツメアカナガヒラタタマムシ *Melanophila acuminata obscurata* LEWIS は少ない種と思われるが、備中国分尼寺跡付近の松林の伐採跡で赤松の叩き網により採集したので報告する。

1 ex., 11. V. 1976, 総社市桂木。

(山地 治)

## アオバセセリを前島で目撃

1976年10月18日、邑久郡牛窓町前島へ魚釣りに行った際丁場付近の海上をややゆっくりした速度で東へ飛んで行く本種1頭を目撃した。目の前約1m近くであったので、青緑色の翅に後翅の橙色が極めて印象的であった。本種は「岡山の蝶」によれば、瀬戸内沿岸部からもわずかながら発見されているが、渡辺昭彦氏による金甲山での1 ex., 23. IX. '68の記録とともに非常に遅い発生の目撃例として報告しておきます。

(那須 敏)

## 伯耆大山でサツマシジミを採集

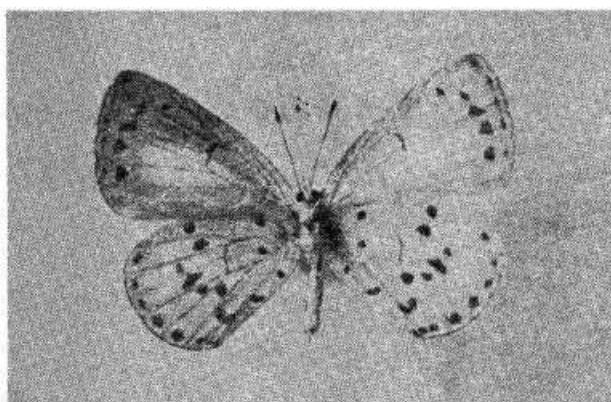
大山のサツマシジミは以前より採集されていることは聞くが、報告されているものはあまり見ないので記録に残しておきます。

1♀, 中の原, VII. 15, '76,

クリの花より、岸清巳採,

同行者 難波通孝氏。

(岸 清巳)



# 久米郡久米南町の蝶類22種について

岸 清巳<sup>(1)</sup>・水島靖夫<sup>(2)</sup>・岸 洋司<sup>(3)</sup>

(1), (3). 〒709-35 岡山県久米郡久米南町中糸748

(2). 〒709-35 久米郡久米南町中糸314の2

筆者らは分布調査がほとんど行なわれていない久米南町一帯について、1975年及び1976年に調査した結果ヒロオビミドリシジミが多産し、ミスジチョウが採集され、又、クロシジミの白化型が多いのに気づく等、かなりの成果をあげることが出来た。この中、22種について記録をしておく。尚、学名は保育社、原色日本蝶類図鑑1976年に従った。

## I. アゲハチョウ科

1) ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* KLUG

久米南町中糸, VII. 19, '76; 久米南町下糸, VII. 19, '76; 久米南町上神目, VII. 19, '76.

2) オナガアゲハ *Papilio macilentus* JANSON

中糸, VII. 20, '76; 上糸, VII. 21, '76; 久米南町下神目, VII. 15, '76; 久米南町別所, VII. 19, '76, イヌザンショウに産卵。

3) ミヤマカラスアゲハ *P. maackii tutanus* FENTON

中糸, V. 25, '75, VII. 27, '76; 上糸, VII. 24, '76

## II. シロチョウ科

1) ツマグロキチョウ *Eurema laeta bethesda* JANSON

中糸、下糸, VII. 29, '75.

2) スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx mahaguru niphonica* VERITY

中糸, VI. 17, '76, 銅育羽化; 別所, 上糸ではクロウメモドキより卵を確認している。

3) エゾスジグロシロチョウ *Pieris napi* LINNAEUS

中糸, VII. 6, '76, VII. 16, '76.

## III. シジミチョウ科

1) ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* MURRAY

中糸, VII. 29, '75, VI. 5, '76.

2) ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* FENTON

中糸, VII. 14, '75; 上糸, VI. 16, '76; 別所, ナラガシワより卵を採集; 上神目, ナラガシワより幼虫を採集。

3) ウラジロミドリシジミ *Favonius saphirinus* STAUDINGER

中糞, VII. 15, '75, VII. 18, '75.

- 4) ヒロオビミドリシジミ *F. latifasciatus* SHIRŌZU et HAYASHI  
中糞, VII. 11, '75, VII. 13, '75, VII. 14, '75, VII. 20, '75, VI. 13, '76; 上糞, VI. 13, '76;  
別所, VI. 12, '76; 上神目, 卵を探集 (ナラガシワより)
- 5) ゴイシシジミ *Taraka hamada* DRUCE  
中糞, VII. 13, '75, VII. 17, '75, VII. 21, '76; 下神目, VII. 15, '76; 上神目, VII. 17, '76.
- 6) クロシジミ *Niphanda fusca* BREMER  
中糞, VII. 20, '75, VII. 23, '75, VII. 9, '75; 別所, VII. 31, '76; 下糞, VII. 3, '76.
- 7) シルビアシジミ *Zizina otis emelina* de l' ORZA  
中糞, VII. 21, '75, V. 9, '76; 下糞, VII. 15, '76; 別所, VII. 15, '76.

#### IV. タテハチョウ科

- 1) ミスジチョウ *Neptis philyra excellens* BUTLER  
中糞, 1 ex., VI. 28, '75. 岸洋司採.
- 2) サカハチチョウ *Araschnia burejana strigosa* BUTLER  
中糞, V. 9, '76, 春型, VI. 24, '76, 夏型; 上糞, VII. 14, '76; 下神目, VII. 15, '76.
- 3) スミナガシ *Dichorragia nesimachus nesiotes* FRUHSTORFER  
中糞, VI. 7, '75, VII. 9, '75; 上糞, VII. 10, '76.
- 4) オオムラサキ *Sasakia charonda* HEWITSON  
中糞, VII. 6, '75, VII. 30, '75, VII. 2, '75; 上糞, VI. 16, '76; 上神目, 幼虫を確認.

#### V. ジャノメチョウ科

- 1) サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* MENETRIÈS  
上神目, V. 5, '76; 中糞, VI. 3, '76, VII. 20, '76; 上糞, VII. 21, '76; 下糞, VII. 15, '76; 別所, VII. 15, '76; 下神目, VII. 15, '76.

#### VI. セセリチョウ科

- 1) ミヤマセセリ *Erynnis montanus* BREMER  
中糞, IV. 28, '76.
- 2) ダイミョウセセリ *Daimio tethys daiseni* RILEY  
下糞, VII. 15, '76; 別所, VII. 15, '76; 下神目, VII. 15, '76; 中糞, VII. 20, '76; 上糞, VII. 21, '76.
- 3) アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* MURRAY  
中糞, VII. 7, '76; 別所, VII. 15, '76.
- 4) ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* BUTLER  
中糞, VII. 23, '75.

以上のうち, 調査地名と日付だけを挙げているものは, すべて3人でそれぞれ何頭かは採集しており, 標本は全部, 難波通孝氏が検している。

# 外国の蝶の話(III)\*

水野 弘造

(〒601-13 京都市伏見区醍醐上ノ山町21-3A 2-104号)

## § アフリカ・ザムビアの蝶

筆者の弟、水野道男（宇部興産勤務）は社用で、1969年11月から1970年3月まで、アフリカ・ザムビアに滞在した。この間休日などを利用し下記の如き蝶を採集し持ち帰った。大部分がKafueでの採集品であるが、一部 Livingstone での採集品がある。なお、1971年末にも短期間同地に滞在したらしいがその時の採集品は、25. XII. 1971, Lusaka に於ける3種だけとなっている。これも目録に含めた。これら採集品はトラップなど特殊な技術で集めたものではなく、素人が余暇を利用して普通に採れる方法で採ったものであるから、行けばまず間違いなく採れるものと考えてよい。しかし、フタオチョウの類などは、日本のオオムラサキやゴマダラチョウのように樹上高く飛びなかなか下りてこないので散々苦労したそうで、樹高の低くなる丘の頂上まで登って何とか採れたそうである。当然のことながら破損品が多く数もあり採れていない。なお、採集の途中の車中では野生象なども見たそうで、採集も楽なものではないらしい。種名は H. L. Lewis "Butterflies of the world" (Harrap 1973) によって筆者自身が調べたが、小型種では誤りも多いかもしれない。従来から言われているように、ホソチョウは斑紋の種内変異と種間差とが不明瞭で、シマアカシロチョウも季節型まで考慮するとすれば同定は甚だころもとない。

大部分は草原性の蝶と思われるが、それにしても100種採ろうと思うと日本では相当苦労しなければならないが、さすがに熱帯だという感がある。シジミの類には熱帯らしさを感じさせるものが多い。

日本との共通種も2~3ある。

標本は筆者が保管している。

### 〔採集品目録〕

採集者 水野道男

採集地 Kafue, Livingstone, Lusaka Zambia, Africa

採集日 Nov. 1969~Mar. 1970 および 25. XII. 1971

### アゲハチョウ科

<i>Papilio demodocus</i>	アフリカオナシアゲハ	<i>Graphium leonidas</i>
<i>P. nireus</i>	ニレウスルリアゲハ	<i>G. pylades</i>
<i>P. constantinus</i>		<i>G. polycenes</i>

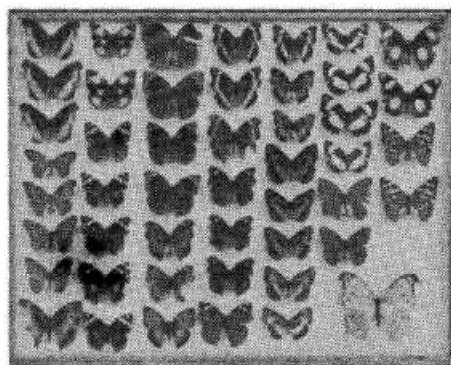
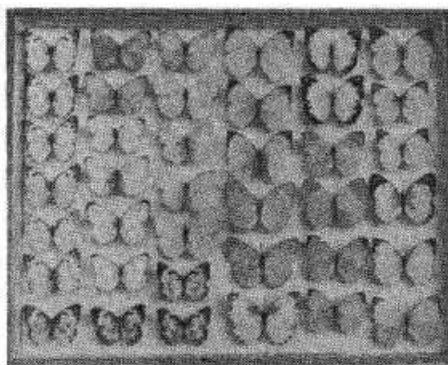
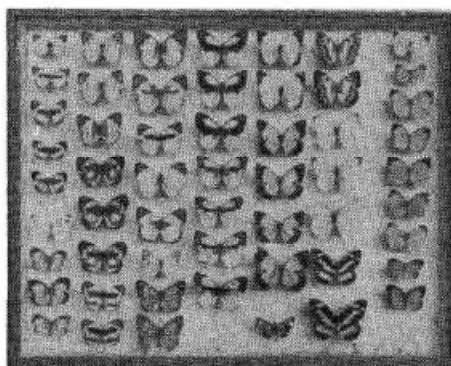
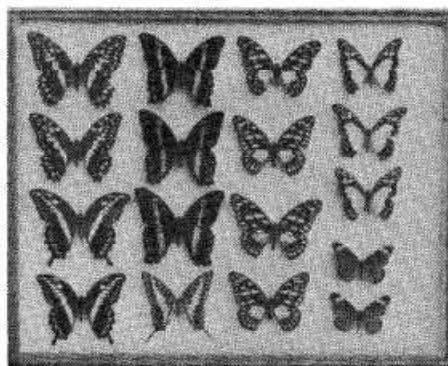
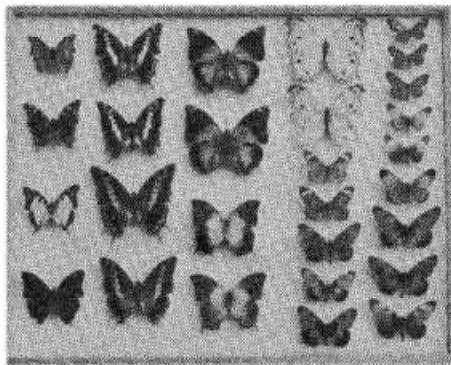
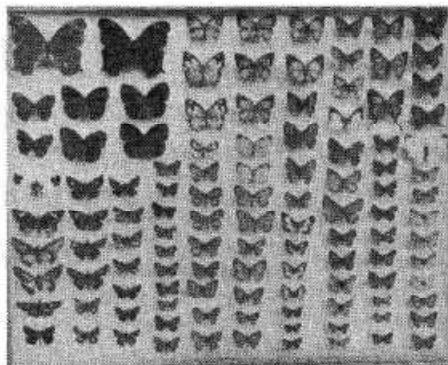
〔すずむし, 113号, 35~38頁, 1976年12月〕

\*(I); すずむし, 17(1): 29~30 (1968) (II); すずむし, 20(2): 13~16 (1971)

マダラチョウ科	
<i>Limnas chrysippus</i> カバマダラ	<i>A. eriphia</i> ミスジシロチョウ
タテハチョウ科	<i>Colotis erone</i> ツマムラサキシロチョウ
<i>Byblia acheloia</i>	<i>C. regina</i>
<i>Catacroptera cloanthe</i>	<i>C. eris</i>
<i>Charaxes achaemenes</i>	<i>C. hildebrandti</i>
<i>Ch. etheocles</i>	<i>C. vesta</i>
<i>Ch. pelias</i>	<i>C. antevippe</i>
<i>Ch. zoolina</i>	<i>C. danae</i>
<i>Ch. guderiana</i>	<i>C. dissociatus</i>
<i>Ch. jahlusa</i>	<i>C. omphale</i>
<i>Ch. bohemani</i> ミズアオフタオチョウ	<i>C. pallene</i>
<i>Hadrodontes varanes</i>	<i>C. evenina</i>
<i>Hamanumida daedalus</i>	<i>C. eucharis</i>
<i>Eurylea dryope</i>	<i>Eronia cleodora</i> ヘリグロシロチョウ
<i>Precis antilope</i>	<i>E. leda</i>
<i>P. octavia</i> アオアカタテハモドキ	<i>Catopsilia thauruma</i>
<i>P. pelarga</i>	<i>C. pyranthe</i> ? ウラナミシロチョウ ?
<i>P. clelia</i>	<i>Eurema hecabe</i>
<i>P. natalica</i>	<i>E. brigitta</i>
<i>P. artaxia</i>	<i>E. eximia</i>
<i>P. acchesia</i> ?	<i>Nepheronia argia</i>
<i>P. hierta</i> ? ルリボシタテハモドキ ?	<i>N. thalassina</i>
<i>P. orithya</i> アオタテハモドキ	<i>Colias electo</i> エレクトモンキチョウ
<i>P. sp.</i>	<i>Appias epaphia</i>
<i>Salamis parhassus</i> ウスアオシンジュタテハ	<i>Belenois creona</i>
<i>Phalanta columbina</i> ウラベニヒョウモンモドキ近似種	<i>Leptosia alcesta</i>
<i>Neptis saclava</i>	<i>Mylothris agathina</i>
<i>N. agatha</i>	ホソチョウ科
<i>Vanessa cardui</i> ヒメアカタテハ	<i>Acraea encedon</i>
<i>Hypolimnas misippus</i> メスアカムラサキ	<i>A. acrita</i>
ジャノメチョウ科	<i>A. anemosa</i>
<i>Melanitis leda</i> ウスイロコノマチョウ	<i>A. terpsichore</i> ?
<i>Ypthima itonia</i> ?	<i>A. natalica</i>
<i>Mycalesis</i> sp. (コジャノメに相当)	<i>A. caldarena</i>
<i>M. sp.</i> (ヒメジャノメに相当)	<i>A. sp.</i>
シロチョウ科	シジミチョウ科
<i>Anaphaeis aurota</i>	<i>Axioceres amanga</i>
	<i>Aphniolaus pallene</i>

*Azanus natalensis*  
*A. sp.*  
*Eicochrysops mahallakoena*  
*Spindasis natalensis*  
*Myrina dermaptera*  
*Pseudonacaduba sichela* ?  
*Hopolycaena phillippus*  
*Spalgis lemolea*  
*Leptomyrina boschi*  
*Lepidochrysops plebeia*

*Cupidopsis cissus*  
*Anthene lirida* ?  
*A. lunulata*  
*Iolaphilus menas* ?  
*Axiocerses harpax*  
*Alaena nyassae*  
*Castalius calice*  
*C. cretosus*  
*Euchrysops kabrosae* ?  
*Hemiolaus dolores*



<i>Cnodontes pallida</i>	<i>Androrymus reander</i>
<i>Penila mombasae</i>	<i>Metisella willemi</i>
<i>Syntarucus telicanus</i>	<i>Sarangesa</i> sp.
<i>Stugeta bowkeri</i>	<i>Borbo</i> sp.
<i>Lachnocnema bibulus</i>	<i>B.</i> sp.
<i>Cacyreus palemon</i>	<i>Syrichtus rebeli</i>
その他不明 4 種。	<i>S.</i> sp.
セセリチョウ科	<i>Acleros mackenii</i>
<i>Netrobalaen canopus</i>	<i>Teniorrhinus harona</i> ?
<i>Tagiades flesus</i>	その他不明 2 種。
<i>Coliades forestan</i>	

以上 (写真参照)

### § アメリカ合衆国の蝶

1973年10月25日、筆者は New York 北部 Ellenville という所で開催された“3rd Photopolymer Conference”に参加していた。ゴルフ場の中のホテルで全山紅葉した山に囲まれて芝生の緑が美しかったが、蝶の飛ぶのを見ていつの間にか夢中で追っていた。まさか晩秋に昆虫採集にはなるまいと思って採集用具の用意は何もない。手に持った講演予講集で、花に止まったところをピシャと叩きおさえるという荒っぽいことであったが、翅は傷むが我手で採った外国の蝶としては最初のものである。2日の滞在で収穫は次の通り。

1. *Danaus plexippus* (オオカバマダラ Monarch) 6 exs.
2. *Pieris rapae* (モンシロチョウ The small white) 3 ♀♂
3. *Colias philodice* (モンキチョウ 1種 Common Sulphur) 5 ♀♂ 9 ♀♂
4. *Colias eurytheme* (ベニモンキチョウ 1種 Orange Sulphur) 1 ♀ 1 ♂
5. *Clossiana bellona* ? 1 ex.
6. *Chlosyne nycteis* ? 1 ex.
7. *Lycaena* sp. ベニシジミ 1種 1 ♀
8. *Philotes* ? sp. シジミ 1種 1 ♂

5～8は翅の破損もあり種名は明確でない。このほかにも数種を目撃し、かなり晩秋まで蝶が活動している様子であった。黒人のオジさんから「我家の猫もおまえのように蝶を追い回すよ」(と言ったらしい) とからかわれたのもなつかしい思い出となった。

米国は虫の少ない所のようで、このほかに虫らしいものを見たのはロサンゼルスでトンボ 2 種が目についた程度。ハワイでは常夏の国のイメージとは逆に何一つ飛んでいなかった。

## 御津郡建部町入野の蝶8種

岸 清巳・水島靖夫・岸 洋司

入野は久米南町と隣接しているが、建部町に入る所以、入野の蝶の中注目すべきもの8種についてとりまとめ報告しておく。

- 1) ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* MURRAY

VI. 13, '76

- 2) ウラミスジシジミ *Wagimo signata quercivora* STAUDINGER

卵をナラガシワより採集し飼育した結果、VI. 21, '76、羽化した。岸清巳。この分布記録は御津郡下より初と思われる。

- 3) ウスイロオナガシジミ

*Antigius butleri* FENTON

VI. 13, '76

- 4) ウラジロミドリシジミ

*Favonius saphirinus* STAUDINGER

VI. 13, '76

- 5) ヒロオビミドリシジミ

*Favonius latifasciatus* SHIRŌZU et HAYASHI

VI. 13, '76

- 6) ミドリヒヨウモン *Argynnис paphia geisha* HEMMING

1ex., VI. 27, '76 水島靖夫採。この個体は雌雄型の完全品であった。(写真参照)

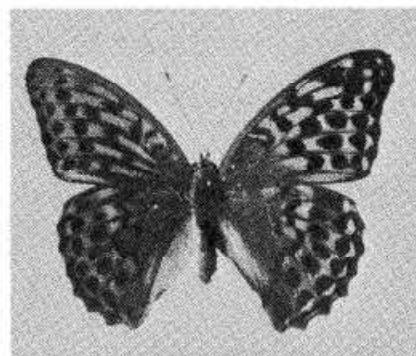
- 7) サカハチチョウ *Araschnia burejana strigosa* BUTLER

VI. 13, '76

- 8) オオムラサキ *Sasakia charonda* HEWITSON

VI. 13, '76

日付だけ記してあるのは3人の共同採集になるもので、種名の同定はすべて難波通孝氏にしていただいた。



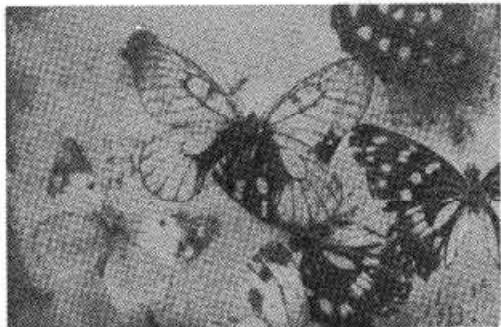
### ヒロオビミドリシジミの産卵について

ミドリシジミ類の産卵についてはあまり報告がないように思うので記録に残しておきます。久米郡久米南町上穂で付近には大きなナラガシワが数本あり、地上5m位の所で直径が1.5cmぐらいの小枝に1頭の母蝶が産卵しているのを確認した。VII. 27, '76、午後3時頃であり天候は小雨であった。

(岸 清巳)

## 福本のウスバシロチョウについて

英田郡英田町福本よりウスバシロチョウは未だ記録されてないが、過去本種が採集された事を知っているので報告する。初め一頭が従兄弟の伊東善希により英田中学校裏の谷で採集された（写真参照・採集年月日は不明）が虫害により標本は現存しない。その後、1967年5月14日当地に採集におとづれた時通称“コウシン谷”奥の砂防ダム付近の斜面で従兄弟伊東弘之により筆者の目前で採集された。この標本は筆者が保管していたが、火災により焼失した。従って標本は現存せず写真1枚が残っているだけである。



(山地 治)

**医療法人**

**重井病院**

倉敷市幸町 TEL (22) 3655

## すずむしバックナンバー分譲価格

巻号	各号分冊価格	巻号	各号分冊価格
9 (1, 2, 3, 4)	100円	16 (2・3・4合併号)	1,000円
10 (1, 2, 3, 4)	100円	17 (1, 2)	500円
11 (1, 2, 3, 4)	100円	18 (1, 2)	500円
12 (3, 4)	100円	19 (1・2合併号)	1,000円
13 (1, 2, 3, 4)	100円	106号	600円
14 (1, 3, 4)	100円	107号	400円
15 (3, 4)	100円	108号～112号	1,000円

### 申込先

上記価格には送料は含まれていません。申込は送料100円をそえて、前金（現金、振替、小為替）で本会事務所へ

### 倉敷昆虫同好会顧問

石原 保 先生  
小泉 憲 治 先生  
安江 安 宣 先生  
佐藤 清 明 先生  
杉山 章 平 先生  
白水 隆 先生  
重井 博 先生

### 倉敷昆虫同好会幹事

青野 孝昭・赤枝一弘・宇野 弘之・小野 洋・近藤 光宏  
中村 具見・那須 敏・難波 通孝・三宅 宗夫・脇本 浩

---

す ズ む し No. 113, December 28, 1976

### 倉敷昆虫同好会発行

連絡事務所 倉敷市幸町（倉敷昆虫館内）〒710  
振替口座 岡山6927

本部（倉敷市中央2丁目20の1 岡山大学大原農業生物研究所内）

印刷所 サンコー印刷株式会社  
岡山県総社市駅前2丁目13-5

---